

ZOOM UP



1995.No.89



キャンパスの若人
東京歯科大学

歯界展望

昨年創立90周年を迎えた日本医科大学。当校を巣立ち、全国各地で活躍される医師は約8,000人余りとなるが、その前身である、西洋医学による医師養成学校として「済生学舎」が設立されたのが明治9年といわれるから、私立では日本最古の名門医学学校である。

大学本部は地下鉄千代田線千駄木駅から徒歩6～7分の緑に囲まれた高台にある。

木の葉が舞い散る冬の景色を一望に見わたす学長室で気楽にインタビューに応じて下さる庄司学長。ご専門が心臓外科といわれるだけあって、少々のことでは動じない、ゆったりとした言動が印象的だ。



日本医科大学 学長

庄司 佑

●略歴

昭和3年 東京都に生れる
昭和23年 東京高等学校(旧制・7年)理科2類卒業
昭和27年 東京大学医学部卒業
昭和28年 東大病院木本外科入局、39年まで勤務その間
昭和29～30年 国療清瀬病院で肺外科研修
昭和34～35年 米国留学
オハイオ州クリーヴランド市、
St Vincent Charity Hospital
心臓血管外科レジデント
昭和39年 日本医科大学外科助教授
昭和47年 日本医科大学外科教授
平成2～3年 日本医大附属第一病院長
平成4年10月 日本医科大学学長 現在に至る

——今日の医療界の現状について「現在の大学の入学定員数は100人ですが、我が国の医師の増減を振り返ってみますと、常に戦争がからんできています。平和な時代が続き、以前の定員数のままですと21世紀には大変な数になると削減になりましたが、分布は圧倒的に都会地に偏り、地方は未だ足りない状態。又、都会地にあっても住民は病気になったら大学病院や大病院に、場合によってはすぐ救急車を、という傾向にあり、昔のように地域のかかりつけの医者で診てもらってから、症状によって大病院にということが少なくなりました。その為勤務医は増えますが、

第一線で地域の健康を守る開業医は経済的にも苦しく次第に少なくなっています。東京無医村になるのではという思いさえします。「健康保険の問題にしてもよくアメリカの友人達が、日本の健保制度は素晴らしい、といっていますが、そもそも健保は医療に携わる人間は善人である、という前提のもとに成り立っている制度なのです。それが崩れたらこの制度も終わりです。高齢化社会を迎え、子供は少数、健保も頭打ちで、医療界は厳しい現実の時期を迎えている、というのが正直な気持ちです。確かに学長がおっしゃるようにお金万能の世の中、医師過剰にともなって、患者数が減り——ひいては収入が減ればそれを過剰治療により保険点数でカバーしようと思う医師がいても不思議ではない、と思

われる。「私の父も昔目黒で開業医をしていましたが、その頃の支払は盆暮れの2回。お金がなければ作物などで、お金持ちは何百円かを持って来てくれ、それで十分医者の生活は間に合っていました。医者は地域の住民の病歴や環境等総て知っていて、金銭の差別なく生活指導までしていました。今は総てカケル幾らで計算。仕方がない面もありますが、医者があまり唯物的になっても困りますね」。

お生まれ育ちは東京・目黒。お父様は内科医。——で当然の如く医師の道に? 「いいえ、初めは文科に行き、サラリーマンになるつもりだったんですが、戦争に行かされそうでしたし、父も望んでいるようなので医学部へと進みました(笑)」と正直に。——何故

文科に? 「その頃の医者は原始的で、手術にしても輸血がないから思い切ったことが出来ないし、抗生物質もありませんから、治療も自然治癒が主体でした。そうした医学の実態にあまり魅力を感じていなかったんです。当時医療がこんなに発展するとは思いませんでした(笑)。父の希望もいれ文科をやめ理科に進みましたが、これも一つの人生だったと思っております(笑)」。

——厳しい現状の中、若い医師達にいわれることは? 「自分の職業に誇りをもち、熱意と興味をもってやるのが大切です。私の専門である心臓外科の勤務医の1～2年生は、家に帰るのも週1日か2日、毎晩遅くまで研究や勉強を続けていますが、お金には全くならない。支えているのは、何とか上手に治してやるんだ。この研究が自身の生きがいだという使命感。即ち今も昔も仕事の中に独自の面白さや、やりがいを見出すことが大切なんです。心臓移植も、人の手術の中で最も実際に行えそうもないものは? それは他人の心臓を貰う事だ、という発想で始まったものなのです。肝臓移植をされたDr. スターツルも初めは犬ばかり手術をしていて犬の医者と呼ばれていたんですよ。大変な苦勞の連続だったと思いますが…。ただ残念に思うのは、現在の日本の医療行政には、こうした人に報いる制度が不完全です。健保制度の欠点でもあると思います」。

——ところで学長ご自身の歯は? 「今都内に3ヶ所ほど分院を持つ、奥様も歯科医である西崎院長に子供も含め診てもらっていますが、大変お上手で喜んでおります。医者もそうですが、良い歯医者さんに巡り会わないと駄目ですね(笑)」。

——最後に当大学の方針をお聞かせ下さい。「本学は官学とは方針を変え学者より病む人に親切な、人間的な医師を養成するのを第一という方針で以前はやって来ました。しかし現在は人間的には親切であっても、学問の裏付けのない医師は通用しません。高齢化社会を迎え、特に老人医療はこれから大きな問題となっていきますが、そうした中であって、病む老人を抱える家庭の生活背景をも考えた医師の養成も考えねばなりません。本学の問題でもありますが、医療界全体の課題でもあると思います」。

私と東京歯科大学

学長
関根 弘



■プロフィール

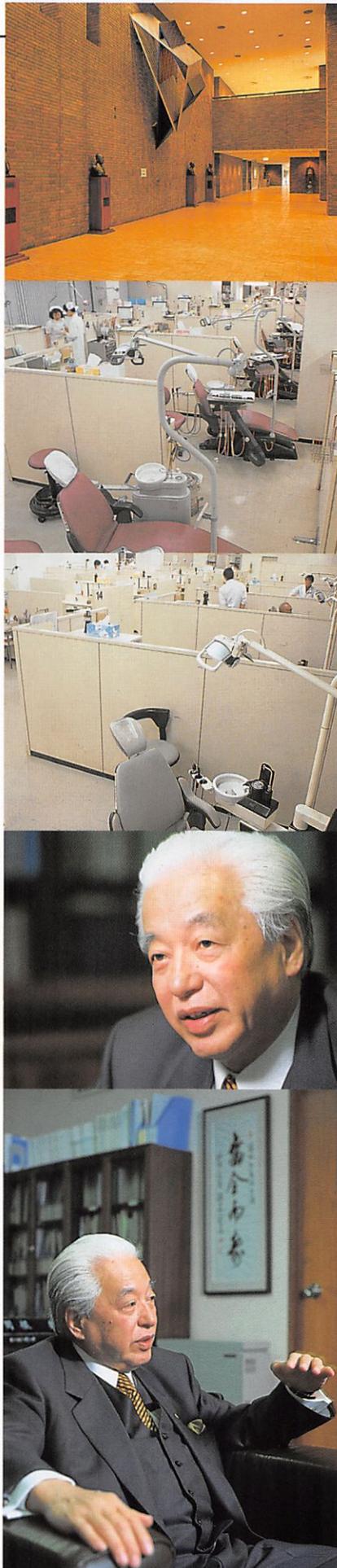
昭和2年8月 宮崎県に生まれる
昭和23年3月 第七高等学校理科卒業
昭和28年3月 東京歯科大学卒業
昭和35年3月 医学博士の学位受領
昭和41年8月 東京歯科大学教授
(歯科補綴学第三講座主任)
昭和51年4月 医療関係者審議会歯科医師部会長
昭和57年8月 日本歯科医師会生涯研修委員会委員長
昭和60年4月 日本補綴歯科学会会長
昭和61年6月 東京歯科大学学監
昭和62年4月 日本歯科医学教育学会会長
平成2年4月 医療関係者審議会歯科医師部会長
平成4年1月 日本歯科医学会会長
平成4年6月 東京歯科大学長 現在に至る

ヒポクラテスは「医師は病気を治すのではなく、病人を治すべきである」。東京歯科大学の建学者である血脇守之助先生は「歯科医師である前に人間であれ」と言われている。両者に共通しているのは“人の心”。即ち患者自身の立場に立った診療を、とすることではあるまいか。

今回は、先号(当誌78号)日本歯科医学会会長としてご登場頂いた関根先生に、此の度は東京歯科大学の学長としての立場でお話しをお聞きました。

「本学は日本の歯科大学の中で100年を越した大学として最も古く、残した実績・足跡も大きいと自負しております。私がこの機に本学の教職員や学生に話していることは“最も古い大学で、最も新しい教育を”ということです。現在、本学が持つ3つのキャンパスの内容を充実させ、ハードからソフト面まで兼ねそなえた世界の中でも新しい大学として自慢出来るものに完成したいと思っております」。「ただ、ここで難しいのはこの教育設備を使って、充実した実績を上げることが大切なことですが、現在本学に限らず抱えている諸問題——多様化した患者ニーズや高齢化する社会構造に伴う疾病構造の変化に対応しうる歯科医師の教育。幸い当校は約50年前に市川に総合病院を創り、歯科を全身から考える教育・研究施設を持っております。これをフルに使って、今後は実績を更に積み上げ、全身の医学にも明るい歯科大学として時代に即応出来る歯科医師を養成して行かねばならないと思っております」。しかし時代のニーズに応える大学教育は素晴らしいが、一方、高齢化による疾病頻度の増大とこれに対する国の医療費総額の抑制策、入学定員の削減等々、対策としての問題も山積している。その点は？「ええ、頭の痛いことばかりです(笑)。各歯科大学もリストラをされているようですが……。更に加えて、昨年改訂された教授要項の内容です。従来どちらの大学も18分科の基本講座に若干の必要科目を加えて教育しておりましたが、これに昨年正式に16科目がプラスされました。これを今後どのように組み込んで行くか。医学は従来DOS(Discipline Oriented System)つまり専門の学科や診療科を基本とした教育ですが、近年

POS (Problem Oriented System) が重視されてきています。つまり問題解決能力を重んずるようになってきたということです。POSのPはPatientに置換えてみますと今歯科医療に求められている患者中心の教育にも通じます。医科は既に国家試験のガイドラインもドスからポス強化に変わって来ておりますので、歯科もPOSを加え、強化していくという方針をとる宿命にあり、躊躇しているわけにはまいりません。今後の医療は、臨床家も研究者も教育者も総てこのポス——問題解決型を強化する方針に変わっていかねばならないと思われるので、その研修・勉強は無限とも言える。学長が頭を抱えるのも無理はない。その教育の内容については「従来は学問ごとに問題の答えを主に教えて来ましたが、今後は問題解決への道程、つまり答の出し方を身につけることに力を入れることになります。そのための頭の訓練がまず出来ないとダメですね。学生は学校で教えますが、問題は数万人の既卒者の研修をどのようにして行くかです。特に全身の状態に明るい歯科医師への指向は大きな課題です。しかし、卒後50年近くあるわけですから、時代の進歩に即した歯科医師になるためには、生涯学習が大切で、ひとえに自身のシチュエーションをどのように位置づけるか、と言うことですね。ゆっくり丁寧に、問題の一つ一つを詳しく実態に沿って話されるが、歯科医師の実情を多少知る聞く側も、その広さ深さに気が遠くなりそう。——しかし(その言葉がつい口に出てしまう)、それ等を学ぶ学生も6年間では不可能に近いのでは? 「ええ確かに。卒直後研修の2年間を義務づけたとしても無理なぐらいです。そのための施設、費用その他を考えると頭が痛いことばかりです。しかし国民のニーズがその方向に向っているのに応えなければなりません。そのためにはまず国民に歯科医療の進歩と口腔機能の真価と、そして現実の歯科医療の実態を話し、よく納得してもらわなければならない、と思っております」。又こうも「歯科医師の位置づけとして、医科の中の一部門として口腔科(Stomatology)を位置づける一元論と、アメリカや日本のように医科の中から歯科だけを取り出して発達した二元論がありますが、現在国民が要望する



方向は、この二元論で発展した高度な内容に加えて一元論で備わる一般医科の内容まで必要になってきたと言えます。医師は間もなく卒直後2年間の研修が義務化・法制化されますが、今お話ししたことを考えれば歯科医師はむしろもっと長い年月が必要なのです。当誌の展望で既に読者の先生方もご存知かと思いますが、現状をみると医科と歯科が別々であること自体おかし、と各医科大学の学長も言われているが、関根学長のお話と正に一致する。

——歯科医師過剰問題につきましては? 「これも難しい問題の一つです。変化に長年月を要する歯科医師数の需要と供給をそれぞれのように読むかということになります。日本の高度成長期と合わせたようにムシ歯が激増し、歯科大学が次々と新設されました。WHOのバームス先生は「社会文化の発達によりムシ歯が増えるが、先進国の小児では急速に下降線をたどる」と指摘されている。今中国では10万人に2人弱のきわめて少ない歯科医師数ですが、今後の文化の発達によりムシ歯の罹患率が急速に増えると予想されます。このことはかつての日本の発展と通じております。日本では、すでに小児のムシ歯がきわめてゆるい勾配で減りはじめています。しかし歯の平均寿命が40才~50才位である現状から歯周病対策を含めた予防中心の医療が進んで、歯の寿命が延び、歯科医師の仕事が成人~高齢層のほうにシフトしていくにはかなり長年月がかかりそうである。一方、供給面からみると、20年位かかって漸増してきた全歯科医師数は、学生数削減の実質的効果がでてくるには20年位はかかりそうである。今歯科界に求められている、もっと全身のことに力を注ぐことや、また予防推進のための患者指導や適正治療などに力を入れるとすると、患者一人当たりの診療時間はふえざるをえないのではないのでしょうか。社会生活における口腔機能の価値や、どのような制度が国民の幸せにつながるか等々、歯科界は今このことを国民に問い国民に本当のことを教えるべき時なのではないのでしょうか。そしてそのためには歯科界自体の自己改革が必要だと考えます」。



社団法人

熊本県歯科医師会

大阪城・名古屋城と並んで日本三名城の1つに数えられる熊本城。

熊本県歯科医師会館はそのお城から車で北東へ4～5分、

付近にはお寺の多い静かな住宅街の中に建っていた。

薄茶のタイル貼りの3階、一部5階建ての1階を県・市歯会の両事務局や役員室、小会議室として使用。

2階は熊本歯科衛生士専門学院、事務室、口腔保健センター、会議室、

3階は、ホールと学院1年生教室、4階は実習室、

5階は2年生教室として使用している。

後述にも出て来るが、これでは激増する会員や県民の為の福祉活動には少々不便、

近く学院を別棟にした、会館づくりに着手されるご様子である。

会館に入り、玄関先のソファに座っていると若い女性が次々と通り過ぎる。

衛生士学院の生徒さんであろうが、皆さん必ず“コンニチワ”と明るい挨拶。

建物内部は少々暗いが(?)、この一声が素晴らしい。

おそらく当学院の生徒さんなら、就職率100%。

各歯科医院から引っ張りだこであろうと想像する。

5時から始まる会議に先立って、昨年4月新執行部に成った鬼塚会長、

川崎・北田・上田3副会長、堤専務理事の5名の役員の方から、

熊本県歯会の現状と活動、又全国で初めて歯科にICカードを導入される八代郡市、

会館と衛生士学院の建設問題等、巾広く語って頂いた。

Officers of
KUMAMOTO
Dental Association

会 長／鬼塚 義行
副 会 長／川崎 正士
副 会 長／北田賢次郎
副 会 長／上田 忠
専務理事／堤 直文
常務理事／富岡 浩雄
常務理事／伊東 隆利
常務理事／松本 文隆
理 事／前野 正春
理 事／吉田 公典
理 事／若槻 正幸
理 事／寺脇 博
理 事／合沢 康生
理 事／中村 社綱
理 事／牧 正仁
理 事／永野 忠
理 事／水野 完治
監 事／山室 紀雄
監 事／多田 集一



会 長
鬼塚 義行



会長：現在県民およそ180万人を会員712名でカバーしておりますが、既歯科医師免許取得者を合わせますと約1,000名ほどになりますので、近い将来2,000人に近い、かなり過密状態になることが予想されます。こうした状況から私は、もう歯科医師も診療所内に止まっている時代ではない、と常々会員に話しております。人口の高齢化に伴い、他に疾病を持つ寝たきり老人のケアや身障者への対応にたいし、歯科がどんな関わり方をしたらよいか、等々…。現在プロジェクトチームを作り、検討していますが、患者のニーズに応えるクオリティーの高い歯科医療を推進して行くためにはどうしても行政とタイアップし、総合的に対応して行くことが必要です。現在ツメの段階に入っておりますので、近い将来実現するものと思っております。その他教育活動につきましては、毎年行う県歯科医学大会。今年は第3回で、テーマは「8020運動」達成に向けて——「歯周治療への取り組み方」の講演を予定しています。又、きめ細かな教育・啓蒙活動は、学術、社保が中心となって、各郡市部にそれぞれの担当者が行き、精神的に生涯教育の一環として活動しております。ただこうした活動の中で強く感じますことは、会員の生活の安定ということですね。経営が安定しなければ歯科医学の発展は望みません。難しい問題が山積みされておりますが、我々は心一つにして、こうした問題の一つ一つ解決していかねばと役員一同心に銘じているところです。

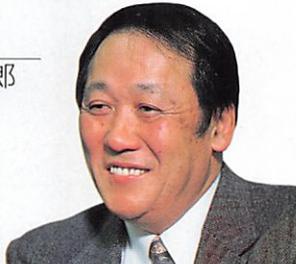
副会長
川崎 正士



川崎：私は県副会長と共に衛生士学院の学院長を兼任しておりますので、その立場から。現在診療所の増加により衛生士の不足を来しておりますが、最近では少子時代に入り高校卒業生の減少、PR不足等で受験生の減少傾向、又レベルの低下等

が見られます。こうした傾向の歯止めとして、女性にとって最適な職業であることや就職率の良さ、歯科医師のパートナーとして資格を取得することへの意義等を広くPRし、先生方の期待に応じて行きたいと思っております。その為にはまず衛生士学院と口腔保健センターの建設が第一。教育施設の充実した中で、今後の歯科医療にふさわしい衛生士を育てて行きたいと願っております。

副会長
北田賢次郎



北田：世の中が非常に早いテンポで進んでおり、このことは我々歯科界においても同様です。が、例えば現在の学校歯科健診の診査票を見ますと、昭和33年の学校保健法制度以来30数年間改定されていないのです。これを時代の要請と実体に合わせた健診に——従前のむし歯の早期発見治療と予防に加え、歯周疾患や咬合の問題、顎間部、歯列、顔面の広範囲にわたって診査をしていかなければなりません。そうした活動がひいては県民の歯科医師への理解や認識につながり、将来歯科医師の活性化、需要の拡大へと



結びつくものと思っております。今年の春からぜひ実行を、と考えております。

上田：私は県副会長と共に八代市の会長を兼務しておりますので、今回全国でも初めてのICカード導入についての話を。昨年、平成7年2月より全国で初めてICカードを導入した診療カードを発行するモデル地区の指定を受け、11月下旬に八代市、県保険課、八代市医師会、八代市歯科医師会四者の初めての協議会が開催されました。が、何しろ最初ということで、資料も2,000字詰めで200枚という膨大なもので、どこから手をつけて、どんな内容を入れるか。導入にあたって最も問題になったのは、個々の家庭・家系の病

副会長
上田 忠



歴がカード一枚挿入することにより一目でわかってしまうことへの抵抗感ですね。これはプライバシーの侵害にも通じるのではと問題になりました。結果的には基本情報のみを入れることで落ち着きましたが、まだスタートしたばかりで、医院や住民の反応は出ておりません。これが医院の効率化や健康管理の充実など、将来の医療の在るべき姿へと、良い方向に向かってくれればと願っております。

編集：それぞれの現状や問題についてお話し頂きましたが、堤専務理事は会務全般に目を通すのがお役目。いかがですか？

専務理事
堤 直文



堤：昨年4月からの新執行部は、新任理事が多数となり全く生まれ変わった執行部という感じですから、とにかく今は会員と県民のために、やるしかない、という心境です(笑)。世の中が大きく変化している現在、歯科医療界といえども従来と同じでは通用しません。その為には会員皆さんの意見を直接聞き、総意を実行に移して行くことが大切だと思っております。熊本県歯科医師会独自の共済年金制度がありますが、低金利時代の今、運用も思うようにまかせず、頭を悩ませています。その他会館建設問題や協同組合のあり方等、やるべきことは山積しておりますので、会員相互の意志の疎通を図り、団結し助け合ってこの期を乗り切って行かなければならないと思っております。

会長：歯科医の数は増え続ける一方で、医療費の抑制は覚悟しなければならず、大変な時代が来るというのが正直な感想です。ただどんな時代にあっても、歯科医療を守るのは歯科医師であることには間違いなく、これを拠りどころとして生涯学習を合言葉に、ニーズに応え、時代に適応出来る活力ある歯科界を会員の皆さんと共に創り上げたいと願っております。

診療室拝見 | HOSHINO DENTAL CLINIC

星野歯科クリニック

千葉市中央区椿森2-4-3

院長 星野浩一 副院長 星野浩之



JR千葉駅から車で3～4分。小高い丘を上り柏・野田方面に向かう国道16号線の道沿いに建つ星野歯科クリニック。徒歩1分でモノレール千葉公園駅、バス停は真ん前が公園球場前という絶好の地のりだ。

昨年11月、昭和40年から29年余り続けられた診療所を壊し、新築されたとあって真新しく、しかも豪華。

外観はブラウンの御影石にコーナーはガラスブロック。診療室のある2階は波形の床までの素通りガラスが貼め込まれ、それを銀色に光るステンレスが囲んでいる。奥に長いビルの1階を駐車場。2階が診療室。3階が住居、更に屋上という設計である。

エレベーターに乗り2階の待合室へ。大理石の玄関ホールの一角に車椅子使用者のためのゆるやかなスロープが設けられ、中には横目の模様が彫られている。おそらく車輪のストッパーの役目を果たすのであろう。エレベーターやこのスロープ。お金はかかったであろうが、高齢化する社会とそれに伴う身障者への対応。院長の温かい心配りがわかるようだ。

待合室の床はライトブラウン、壁面はこれ又大理石。ブルーの肘掛けのついた個人掛け用椅子が5脚、明るい室内にゆったりと置かれている。受付はゆるやかに内側に入った逆アールの木目のオープンカウンター。

大きめのガラスを貼め込んだドアを開けて診療室へ。床までの素通りガラスに沿って濃グレーとアズキ色のツートンカラーのくファインGMD>L型が3台並べられている。更に奥の院長室に続くコーナーには、間仕りで囲み、おそらく治療時間がかかる患者さんのために設けられたのであろう、ユニットが更に1台置かれている。

院長は昭和39年日本大学歯学部をご卒業。卒後は市内で勤務医を1年半程経験。40年7月当地で開業された。

副院長である浩之氏は、現在は週2回当クリニックで診療している。平成2年に日大歯学部を卒業、さらに昨年3月に補綴学の大学院を卒業され、現在は研究生として医局へ通われている。今年4月よりは、肩書き通り副



院長としてフルタイムで診療に入られる、とのことである。

院長は県や市の役員・理事を18年も続けられ、昨年11月には知事表彰を受けられ、県内外にもその名を知られている。副院長は歯科医師の長男としてゆったりと育ったと思われる温かなイメージを与える。今後は息の合った親子の歯科クリニックとして患者さんにも好印象となって伝わることであろう。

Q：院長は初代ということですが、何故歯科医師に？

院長：明治生まれの親父は軍人で、終戦後は長男で一人っ子の私を学校の先生にされたんでしょね。私も父の意向に沿って初めは千葉大の教育学部に入ったんです。でも1年半程通ってどうしても性に合わず(笑)。叔父が医者であったことから、将来人に使われることがないと思われるこの道に進みました。親父に、結核になるぞ、とおどかされたり、そんなに高い入学金などんでもないと怒られたり(笑)…。私も我儘だったんでしょね(笑)。

Q：周辺部の開業医状況はどうでしょうか？

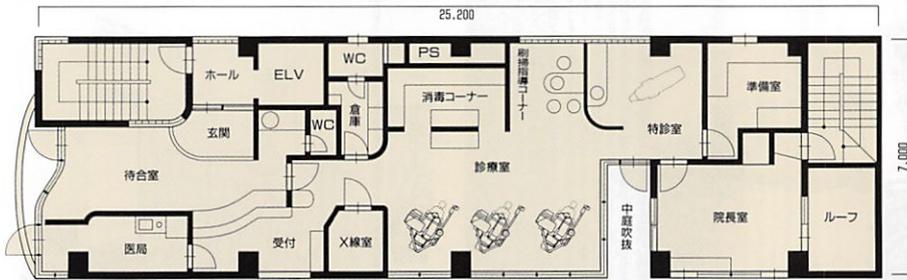
院長：千葉市の人口は85～86万人。対する歯科医師は会員約450人、開業軒数は300軒余りですが、駅周辺部や千葉都民と言われる海浜地区の住宅地では人口比率で2,000人を切っており、かなり厳しい状態ですね。

Q：そのような状況下、よく思い切ってこれだけの素晴らしい歯科クリニックを建てられましたね。

院長：患者サイドに立ってその心理を考えますと、同じ治療を受けるのなら、きれいで親切なところに行きたいと思うのが当然で…。過当競争の中でのパフォーマンスかな(笑)。この4月から息子が共に診療をやることになりましたので、新しくするのなら後々悔いのないように、将来をも考え建物や設備を作りました。

Q：親子での診療。自信はありますか(笑)？

院長：今のところ息子は週2回診療をやっておりますが、患者さんは完全に分けてお



ります。診療のやり方も私達が学んだ昭和30年代とはだいぶ違います。息子は私が立位で治療するのは不自然だと言いますが、私は長年の習慣で、座るのはやりにくいんですよ(笑)。

Q：副院長のご意見は？

副院長：今は父が主になっておりますので、スタッフも、一人でも治療出来る父のやり方でやっておりますが、私達は座位中心でアシスタントがいないと効率良く出来ない習慣が身に付いておりますから4月からは増やしたいな、と考えております。建物も父が計画を立てて作りましたが、行く行くは私に回って来る(借入金?)のでは、と思っています。でも全てお膳立てをしてもらって、心では感謝しているんですよ(笑)。

Q：将来はどんな方向に？

副院長：これからまだまだ勉強をしていかなければなりません、インプラントなども含め、自分のコマを多く持ち、時代に即したそれぞれの患者さんのニーズに対応できるようにしたいと思っています。院内の雰囲気も今は父ですが、その内私の意見も反映出来るのではないかと

(笑)…。

Q：院長は長年のご開業と、又役員等をされて来られて…。今の歯科医療界をどう思われますか？

院長：確かに今を冬の時代、人によっては氷河期と言われる程、難しい時代に入っておりますが、ただ手をこまねいては仕方がありません。高齢化する社会に向かって、自院の特徴を出し、来院される患者さんにどの様に対応していくかを考

える。結果は予測出来ませんが、挑戦し、明るい方向に向かって前進していく気持ちが大切だと思います。後は歯科医師であることを自覚し、真面目に日々の仕事に打ち込むこと。これだけです。

Q：オサダの<ファインGMD>。ご購入頂きましたのは？

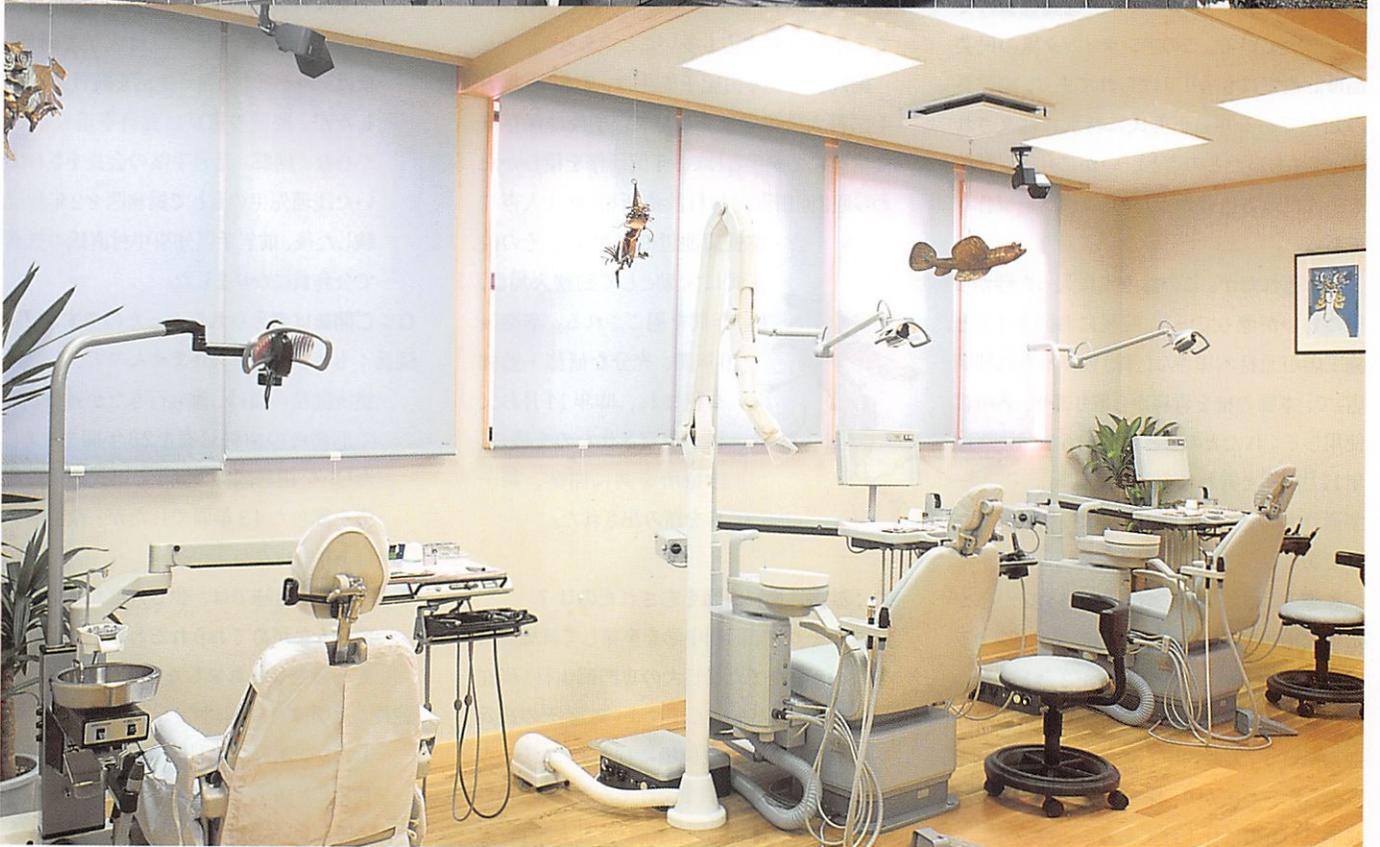
副院長：大学時代、色々なメーカーのユニットを使いましたが、中でもオサダのユニットは最も使いやすく、メンテナンスもしっかりしておりました。ファインGMDは少々高いんですが(笑)、どうせ新しくするのなら、将来まで考えた良いユニットを買おうと…。コンピューター内蔵ですので、父も最初は戸惑ったようですが、だいぶ覚えたようで(笑)。気に入っております。



みどりが丘歯科クリニック

岩手県盛岡市緑が丘3-4-36

院長 菊地萬之助 副院長 菊地由紀子



盛岡駅から岩手医科大学正門前を走り抜け、丘陵地の真ん中を貫く国道455号線を下ったところに建つ県営球場。みどりが丘歯科クリニックは、その手前を左折し2~300mほど行った右側。小路をちょっと入った静かな住宅街に建っている。

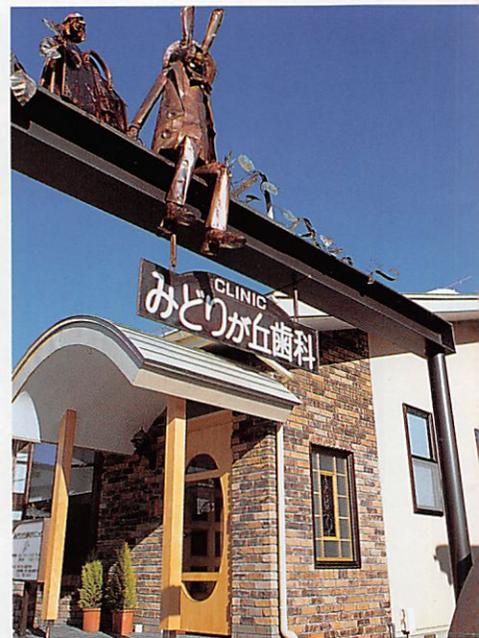
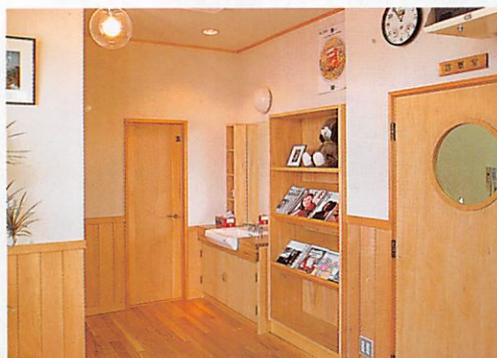
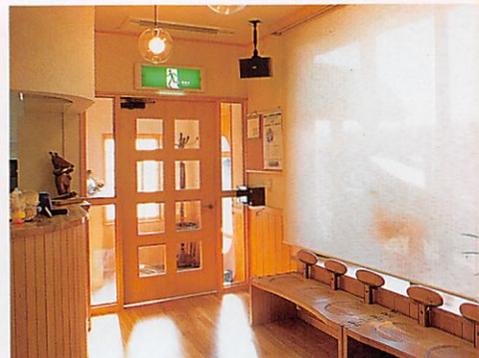
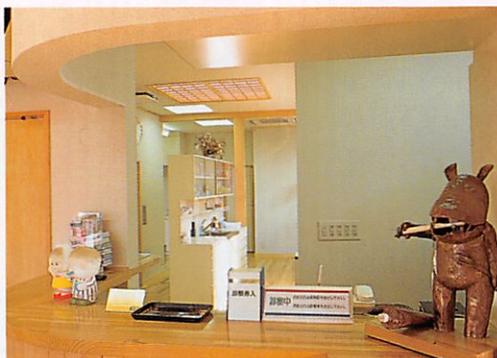
正面入口を2つに分け、一方はそのままマイル貼りの駐車場へ。片方にはアーチ形の門をつくり、院名と共に、上部には銅でつくられたアンティーク風のウサギが片手に応診カバン、左手にはムシ菌菌をつかんで乗っている。

玄関アプローチの外壁はヨーロッパの山村に見られる古いレンガ作りの納屋を思わせる色使い。入口ドアは木目もそのままの白木づくり。医院名がなければ民芸品が可愛い装飾品を売るお店に間違えそうな外観イメージである。

待合室は床、出窓、受付等総て木目の白木を使用。特に窓に沿って並べられた椅子は一目で手作りりとわかる凝った椅子。受付の片隅にはこれ又銅作りのムーミンが電動仕掛けで歯を磨いている。このアンティーク風の民芸品は診療室にも吊り下げられてあり、副院長の知人である井上正美氏に特別に注文され作ってもらったとのこと。いかにも宮沢賢治を生んだ地方色豊かなのしいイメージ作りである。

話はそれだが、この診療室に入った時から檜の匂いが漂っている。院長にお聞きすると、施工店が元材木屋さん((株)佐々木喜八郎商店)で、本物の檜を青森から取り寄せ、各所に使用してくれたとのこと。平成6年11月開業と言われるから、文字通り木の香も匂う新しい診療所と言うわけである。

診療室は、淡い緑のロールカーテンが下がる窓に沿って、グレーと薄緑のツートンカラーのスマイリー<ノーベル>が2台と先輩から譲り受けたと言われるスマイリーN1台が並んでいる。天井の中心には天窓が作られそこから青空が広がり、採光充分な診療室を更に明るいものに仕上げている。



院長は昭和24年、日本大学専門部歯科をご卒業。大学で研修された後、此処盛岡に戻り勤務医を約2年。その後、口腔衛生に興味があったことから宮古保健所、県の保険課等を歴任、定年まで43年間を過ごされたと言われる当界の大ベテラン。読者の中でご存知の先生方も多いことであろう。

副院長である由紀子先生は、昭和59年岩手医科大学歯学部をご卒業。卒後は保存修復講座にて副手として3年間研修を積みかたわら週2回田沢湖歯科診療所(医療法人杏仁会・院長菊池哲郎先生)に。その後正式に常勤として勤務入局し、約7年間を過ごされる。卒業後10年間、十分な研修・勉強を積み、昨年11月お父様が退官されたのを機に、診療所を共に開業、第一歩を踏み出された。

Q: 院長、歯科医師を志されたのは?

院長: それで、旧制中学を卒業して就職したのが、たまたま日大の専門部歯科(現在歯学部)だったんですよ(笑)。その後兵隊に行き除隊後職場に行きましたら、専門部歯科の試験を受けてみる、と言われ(笑)…。当時故鈴木勝(元日大総長)先

生や故押鐘教授にはずい分可愛がってもらいました。卒後は昼は大学で研修、夜はアルバイトと言う生活を続けていましたが、戦後の東京は食料事情も悪く、やむなく帰郷。元岩手県の会長をされていた浅理先生のもとで勤務医を2年程経験した後、前岩手県知事小村直氏の推薦で公務員になりました。

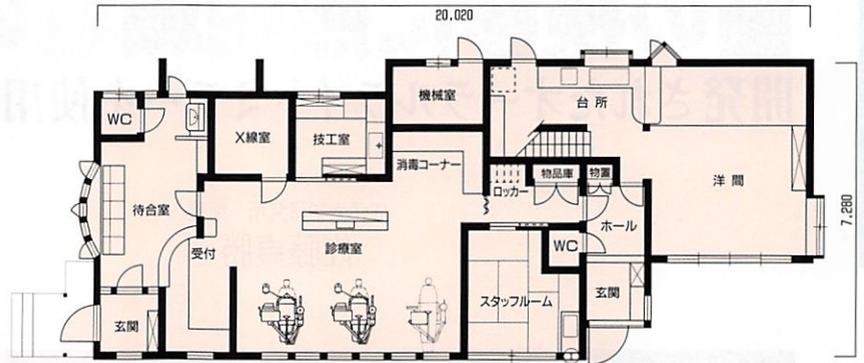
Q: ご開業は考えられなかったのですか?

院長: もともと欲がありませんので(笑)。保健所勤務の頃は、誰も行きたがらないので刑務所の歯科診療を23年間やりましたし…。歯科医師の向上と県民の歯の健康を願った43年間でしたが、全く悔いはありませんね。

Q: そうした意味では、少し外部から歯科医療界をながめておられたわけですが、何を一番感じられましたか?

院長: 近頃はだいぶ認められるようになりましたが、国民が歯科医師の仕事が自身の健康にいかほど大切なものであるかをわかっていない。何故これを歯科医師側がも





っと積極的にPRしないのか、というジレンマをいつも感じていましたね。現在

歯科医師は過剰と言われておりますが、役所関係には医者は多いんですが、歯科医は少ないのです。数をふやして口腔衛生指導から健康指導へともっと踏み込んで行く事が大切だと思います。

Q：2人のお子様を、長女は医師に、次女は歯科医師になされましたが、将来どの様に進んでほしいと思われませんか？

院長：別にこうなって欲しいとは具体的には思っておりません。ただ望むことは、社会の礼儀や習慣はキチッと守って欲しい——例えば患者さんとの約束や保険のとり決め等は必ず守ることなどですね。

Q：副院長。キャリア10年。歯科医師として十分な経験をされましたね。

副院長：いえいえ(笑)。勤務医時代は診療に専念、レセプト作りは総て開業してから初めて学ぶことが多く戸惑っていました。しかし菊池哲郎院長先生や技工士さんに指導して頂いたことは今になって役に立ち、非常に感謝しております。

Q：診療室を設計されるにあたってご留意された点は？

副院長：設計にあたっては10年来のお友達ですが、歯科は初めてという伊山治男さんと言う方にお願いしたのですが、私の

好みを知って下さり、自分が考えていたより素晴らしく、気に入っております。総体的には、自然に人が集まって来るような、居心地の良いのんびりとした空間を提供したい、ということでした。銅製の置物も伊山さんの義兄で今売り出し中の井上正美さんが作って下さり、院内ムードを和らかで温かいものにして頂けました。此の度の開業では家族の人達や歯科以外でのお友達も皆さん協力してくれまして、本当に有り難く感

謝しております。

Q：オサダのスマイリー<ノーベル>。選ばれたのは？

副院長：オサダのユニットは、大学では色々なメーカーがありましたが、実際に使うのは初めてなのです。でも噂や評判で知っていましたので、内心憧れていたんです(笑)。東京や栃木にいる友人や先輩も使用されていますし、ユニットならアフターや後々の管理も含めてオサダに限るよ、と言われました。実際使いやすく、気に入っております。



Z O O M で C L O S E - U P



佐藤貞勝先生 の巻

東京都渋谷区道玄坂1-17-5

渋谷駅南口を出て、東急プラザ脇の坂道を登り切ったところに建つ佐藤歯科&歯学研究所。2階を診療室、3~4階を研究所にあてられているようだ。

10年近く前当誌でもご紹介したが、当時と全く変わらない風貌・色艶、温かな笑顔。

昨日は「朝の内は治療し、昼からはロータリークラブでの講演でした」。で、どんな内容のお話しを？「日本の歯科疾患の年間推移」と題して昭和20年からのデータに沿って、砂糖の消費量が歯に及ぼした影響から8020運動、さらに世界口腔年についての話しまで。ロータリーの皆さん、自身の健康

管理には関心が高いようで、知識階級の方が多のですが、皆さんメモを取っておられました。特に歯周疾患は、30才を過ぎた人の80%が罹り、今痛くなくてもほっておけば必ず抜けますよ、と話したら緊張して聞き入っていました。「私の診療所には40年ぐらい診ている患者さんが来院されますが、90才で20本近

くの歯が健在の人もいます。痛くなくとも3ヶ月か半年に1度はチェックして、特に咬合を管理しています。人間いつもどちらか一方で咬むクセがあるようですから、長年の負担で顎関節に異常を来たします。ですから咬合調整を中心に診てあげることでですね。痛くもなく歯が動揺もしない、健全な人を診てあげるのが一番難しいと言われるが、そういう人は通常なら歯科医院に行く気も起こらない

のですね。「今歯科医師過剰と言われていますが、人口を歯科医師の数で割れば確かに多くなっているかも知れませんが、人口数×28本と考えればものすごい数になります。歯が痛くなくても、家族全員の健康管理の面から、長寿を願う真のホーム・ドクターとして、何10年もおつき合いをすることが大事でしょうね。医科は大きな設備が必要で、大病院でなくては出来ない面がありますが、歯科はすぐにでも診断・診療が出来ます。それが歯科医院の良さでもありますね」。

昭和18年、東京歯科大学をご卒業。卒業後はずぐ戦地(中支)へ。復員後は慶応大学医学部衛生学教室に研究生として5年間を過ごす。その後母校の非常勤講師となり現在まで約40年。その間、当誌でも歯科医療管理学会の会長とし



でご登場頂いたが、日本の歯科医療の発展に残した足跡は多大なものがある。著した著書・論文も数多いが、中でも長年に亘って調べた「永久歯の萌出」と題する本は、欧米でも貴重な教育資料として使われている。「今“乳歯の萌出”を調べているんですよ」とお見せ頂いた印象模型。生後6~10ヶ月の乳幼児を2ヶ月置きに印象採得され、その子達の歯が生え揃うまで何年間も続けられていると

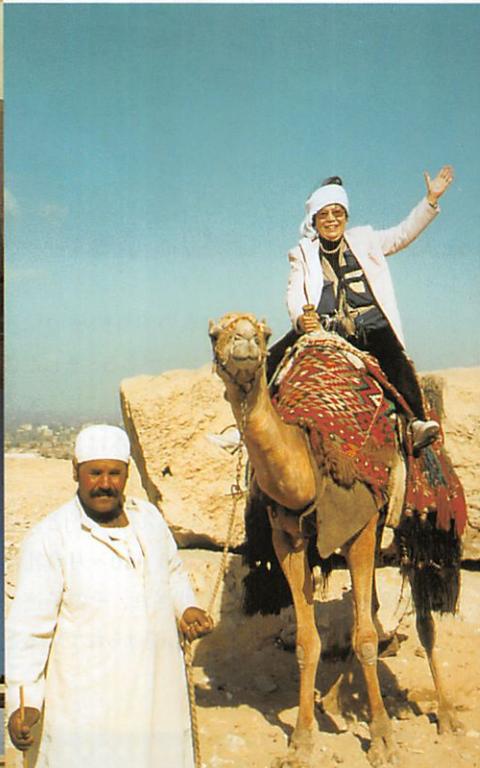
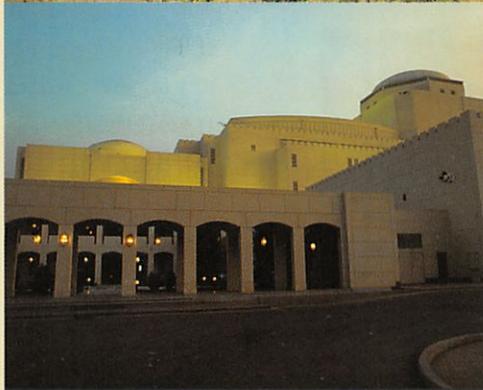
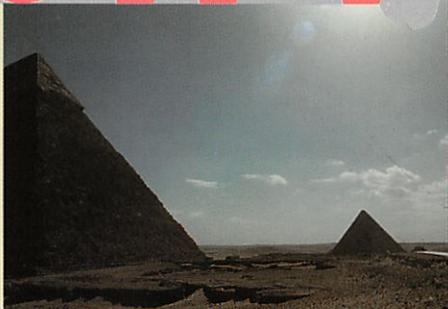
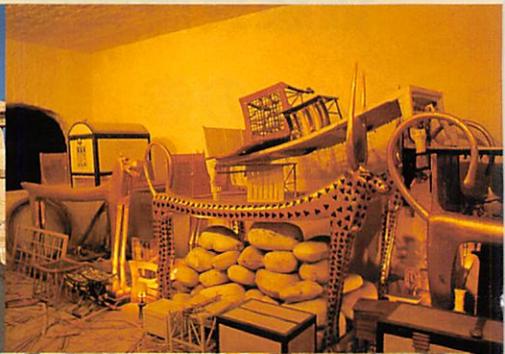
いう。印象模型を調査・計測し、研究していく。加えて先述の講師や日々の診療、ステージグループの指導や講演。その努力・忍耐、何よりパワーには、風貌はともかく、77才になられた方とはとても思えない。佐藤歯学研究所から博士を取得された方も35人程おられると聞く。

——ホーム・ドクター。口で言うのはやさしいし、皆さんそう願っておられるようですが、その秘訣は？「秘訣なんてありませんよ(笑)。それは親切に患者さんとおつきあうことでしょうね。ただ今の歯科医師教育、6年間では歯科医の基礎教育だけで精一杯です。国民が欲しているのは、口腔疾患の完全治療です。それを通して全身の管理をするには医学的知識がどうしても必要なのです。真のホーム・ドクターになるためには卒業研修が必要と思います。義務づけのようにして臨床教育を考えるようにしないとイケないでしょうね。これからの歯科医師は医科の知識を持たねばならないと思います」。

——振り返って、歩んだ人生と、若い先生方に何か？「やはり最終的には、この職業は人のために尽くす職業であり、喜んで頂ける仕事であると言うことです。そのためには日々の仕事の中に使命感と共にたのしさを見出ししていくこと。研究や論文も、大変だと思ったら出来ないで

すよ(笑)。そして若い先生方には、とにかく本を読みなさい、と言うことですね。同じテーマでも時代によって考え方が違って来ます。その時、その時代を精一杯生きること。私も今過去の論文等を読みますと色々反省点が見つかります。でも過去にはその時それぞれのデータを忠実に書いたものですから、クヨクヨしないことにしています。これが長生きの秘訣かな」と笑われた。

EGYPT





海外だより

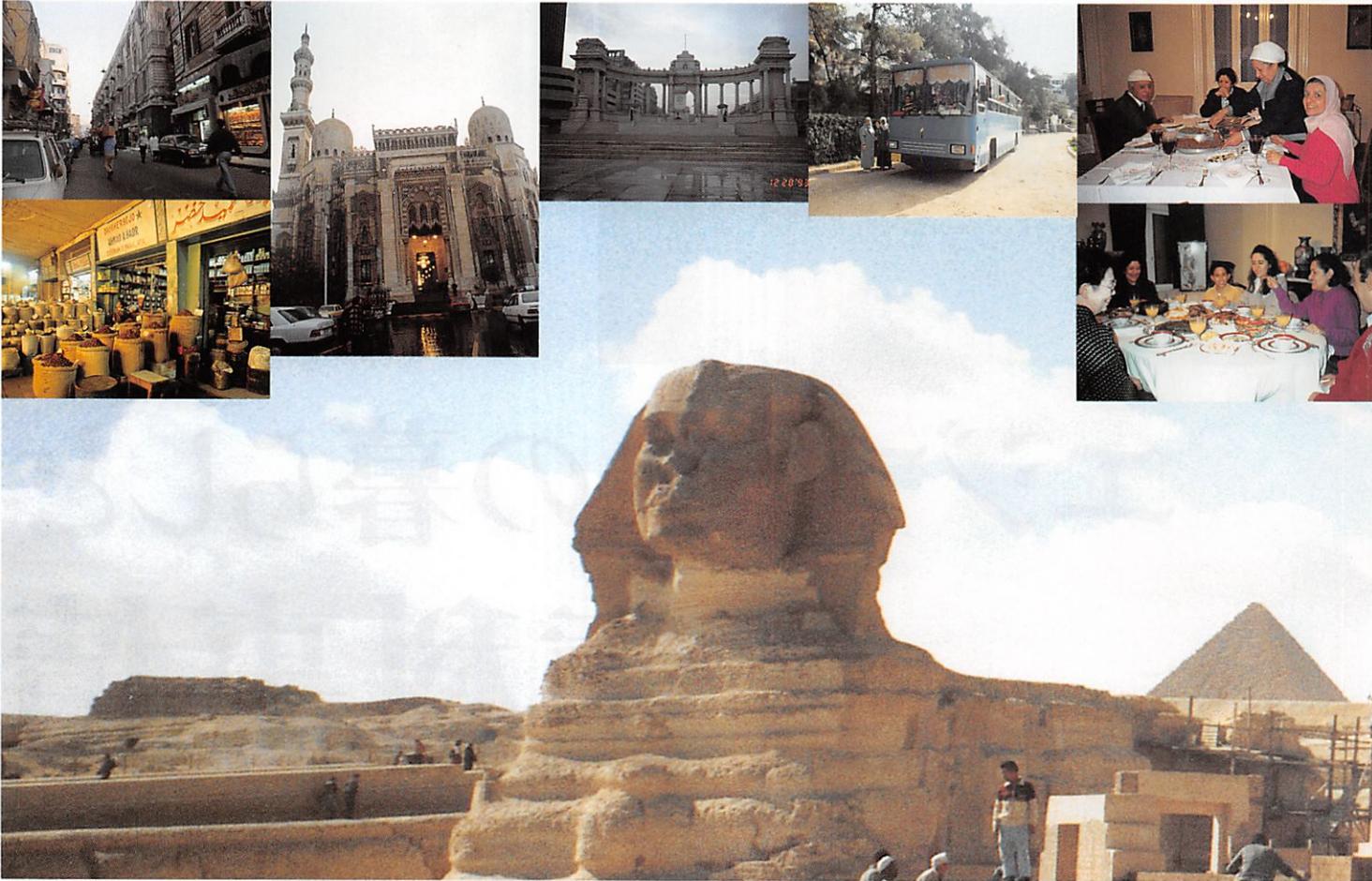
エジプト人の暮らしと 歯科事情

歴史的に、考古学的に、美術的にエジプトは世界に名高い。その文明の遺産は世界中の博物館や美術館に散らばり納められ、展示会も頻繁に催され、国外持ち出し不可能な神殿やピラミッドを垣間見る為エジプトを訪れる観光客は後を絶たない。

しかし、その気が遠くなる程深遠な文明を、日常生活に織り込んで、今という時を生きているエジプトの人達の暮らしや習慣はあまり知られていない。

故に今回は、そこに焦点をあてて、語りたく思う。





はじめに

私にはエジプト人の、姉妹の様に心置きなく話せる友人がいる。ボストン大学時代とNY時代の初期に、博士号課程で留学中のライラとイナムと生活を共にしたのがそのきっかけとなった。彼女達を通して米東部に留学していたエジプトの学生達の殆どとも親しくなるに至った。

皆博士号を取って帰国し、各分野で偉くなり、今度は国際会議などでアメリカにやってくる、私の方も時々エジプトに出かける——で、交遊30年に及び、知らぬ間に人間の絆が深まり、輪も広がって行った。

両親だ、伯父伯母さんだ、姉だ弟だ、従姉妹だ姪だ夫だ友人だ、そして子供だ——という具合である。大人の方は、年月を重ねるにつれ肥って恰幅が良くなっていく位の変化だが、子供となるとついでこの間迄鼻タレ小僧だったのが、ヒゲなんかはやしていやに頼もしくなっていたり、フィアンセを連れてきたり、その内出来たての赤

ん坊を腕に抱えて来たり、となる。

友人達が家庭の内外で長老となってきたので、この私迄長老的存在となっている様で、行くとまず皆がそれぞれ挨拶に来て、次はそれぞれの家への招待となる。

そして私の滞在中、友人達は交替で要職を休んで私につき合ってくれ、都合がつかない時は「長老」の指図で、姪や甥が私の付け人となり、タクシー代、入場料その他諸雑費の会計から、フィルムが切れればその調達、買物の値段の交渉、何か売りつけようとしてこくたかる商人達を追い払ってくれること

となる。

彼等が語る近況は、現代エジプトの変動をパノラマ的に私の前に繰り広げ、彼等と訪れる遺跡の数々は、古代エジプトを私に見近かなものとしてくれる。ガイドブック類には載ることの無い、人間味溢れる語り伝えのエピソードが加わるからである。

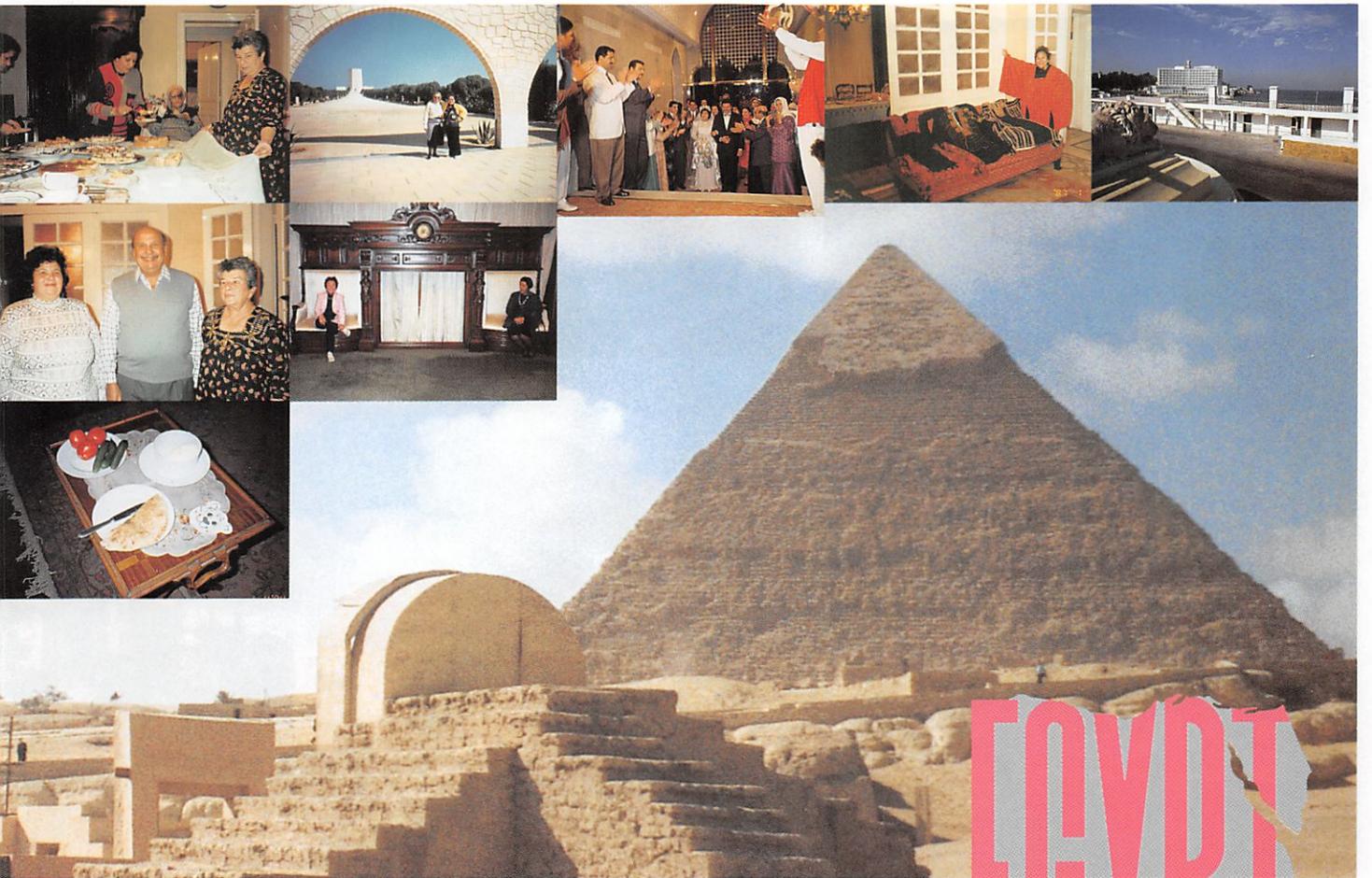
現代エジプトの政治と経済

エジプトの歴史は、諸外国の侵略の歴史でもある。それでエジプト人は、外国の統治下のフラストレーションを、ジョークで発散する技を編み出した。今でも会うと、冗談の披露から会話が始まる習慣がある。

今回聞いた現代エジプト社会を比喩する新しいジョークのものなどは、部厚い調査資料以上に現状を簡潔に伝えるもので、噴き出す傍ら感心もしてしまう。

「一つ、もしナセル時代に監獄入りしていなければ、まずあなたが監獄に入ることは無い。一つ、





サダト時代に金持ちになっていなければ、まずもうあなたが金持ちになることは無い。一つ、ムバラク時代にビジネスで儲けていなければ、まずもうあなたが儲けることは無からう」

1952年に革命を起こしたナセルは、王政を廃止し、主要産業の民間企業を、外国の銀行も含め、全て国営に切替え、儲け過ぎる地主と家主を「悪者」として、レントを何回も下げた上にコントロール制度とした。故に40年以上も経った現在でもアパート代は当時のままで、同じアパートに住み続けている家族は、8~10部屋の月のアパート代が、400円だったり700円だったりする。最初この途方もない数字を耳にした時、少なくとも一桁は計算間違いと思ったが、そうではなかった。子供2人の30才位の若夫婦の生活費は、月700~2,000ポンドというから、この月12~20ポンドのアパート代が、如何にこの世離れしたものが判る。だからエジプトの家主は皆貧乏という。

サダト時代になると、近国との通商が奨励され、専門家や技術者は盛んにアラビアその他に出かけて行って儲けることとなった。

現在のムバラク時代になると、それ迄輸入品ばかりだった消費者市場から輸入品は締め出しとなり、国内生産調達の奨励となった。輸入品は凄く高くなって手がとどかなくなったので、国産品が出回り出し、時が経つにつれて品質も高くなり、「エジプト製」に対する国民の誇りも高まってきた。今では水泳着もエアロビック衣類も、みなエジプト製という。

私のエジプトの拠点、カイロに次ぐ大都市のアレキサンドリアにも「フリー・ゾーン」が3つ程出来て、ジョーダーシャリーバス商品などの生産が、国内外市場向けに行われている。

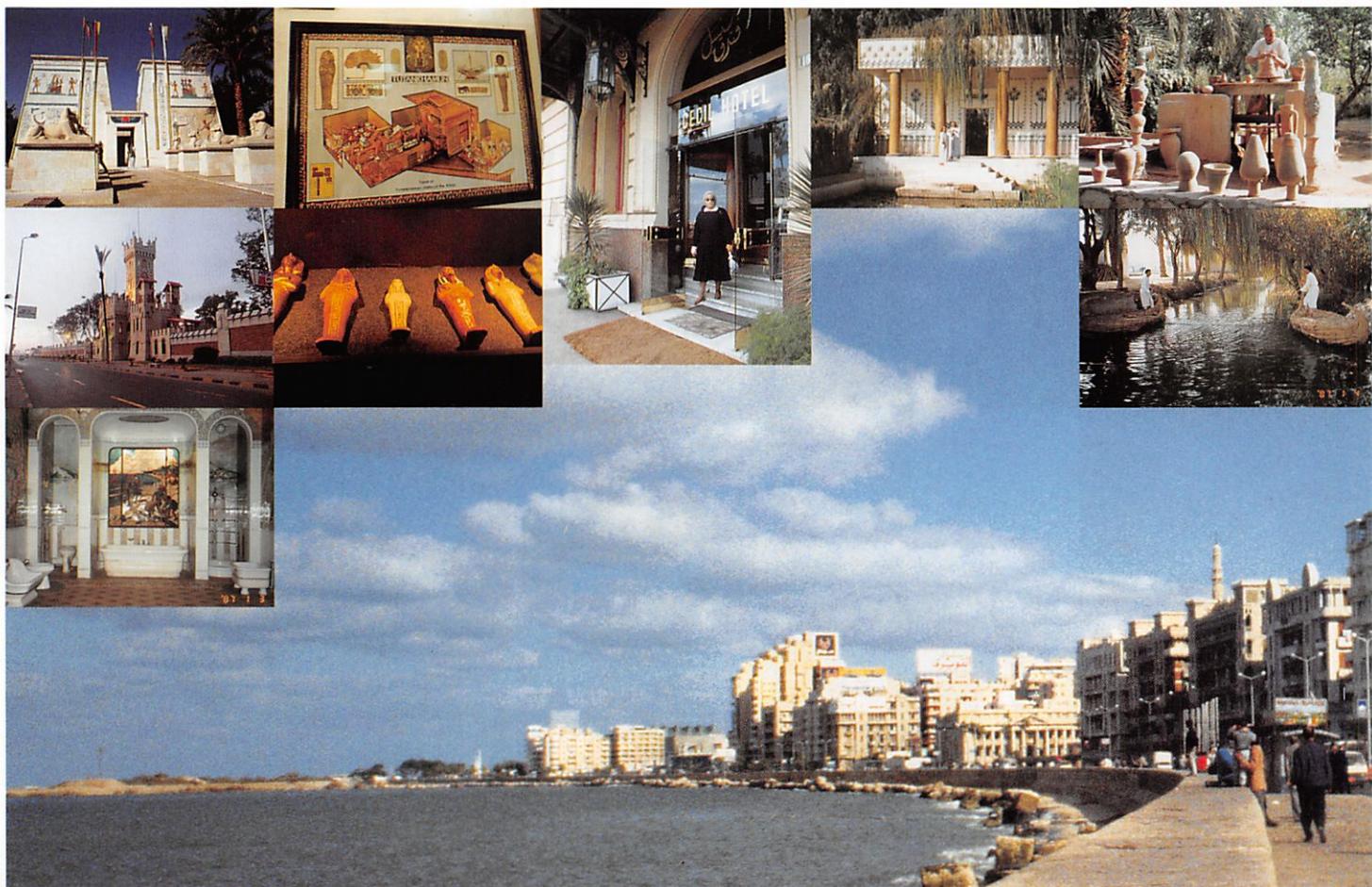
物価の例をあげると、国産タバコは1箱150ピアスタだが、輸入のアメリカ・タバコは1箱4ポンドとなる。100ピアスタが1ポンドで、1ドル(100円)は丁度3ポンドである。植物園の苗木は、物に依って350ポンドだったり、2,000ポンドだったり、中には6,000ポンドというのもあった。大学教授の月給が1,500ポンド位と聞くと、多分これは買手手の「大交渉」を見越しての値段であろう。中近東の売買は一種のゲーム感覚で、値引き交渉するのが習慣という。

海外だより/エジプト人の暮らしと歯科事情

エジプトの古都 アレキサンドリア (以下A市)

紀元前331年に、古代ギリシャ(マケドニア人)のアレキサンダー大王の命で造られた都市なので、アレキサンドリアと呼ばれる。現在のA市は、15世紀頃の大地震で崩壊した古都の上に建つもので、故に何処を掘っても遺跡が出てくる。

コインとか壺はざらで、先ほど砂漠で井戸を掘ったら、ローマ時代(クレオパトラの自殺した紀元前30年頃からの四世紀)の葡萄が出てきたという。当時のエジプトは砂漠に葡萄を植え、ワインを作ってローマに輸出していたようだ。友人のナマド(美術専門家)は、「息子が潜水に凝っていて、潜った時に壺なんか見つけて持ってくるのよ。海底に沈んだ宮殿の一部が見えるそう」なんて言う。



最近ナイルのほとりで、今から4,600年前に作られた世界最古の舗装道路(7マイル半)が発見されたが、古代エジプト人が、ピラミッドや神殿建設用の石運びの為に作ったらしい。

電報式に書くと、紀元前200年頃のA市は、文学、科学、数学で知られる世界の中心都市となっている。この「ザ・トレミー時代(紀元前323~30年)」は、クレオパトラ、シーザー、マーク・アントニー、オクタヴィアン(オーガスタス)のドラマで世界に有名だが、A市がその舞台である。

A市は地中海に沿って発達した細長い都市で、海岸沿いのコーニッシュ・ドライブ道路の中間にあるセシル・ホテルは、クレオパトラが自殺したところと伝えられている。この辺は今では避暑地として名高いが、革命当時は建物など無い砂浜だった。現在では上流社会の住宅地となっており、アパート代は4,000ポンド位だが、昔から住んでいる人達のそれは、2桁単位のバカみたいなレント代らしい。

A市ではもう借りるアパートは無いそうで、

コンドとして買わねばならないという。私の友人達のライフ・スタイルでは、少なくとも5室(ベッドルーム3室、バスルーム2室、客間や食堂、それに台所etc.)のコンドとなり、買値は30万ポンドという。同じコンドが3年前は12万ポンドだったというから、良い投資ではある。カイロではもっと高く、1,100万ポンドするものもあるようだ。

これ迄の高層建築は駐車場無しでどんどん建てたので、その周りはダブル駐車が多く、道路上の混乱がひどい。それで今では、高層建築は駐車場付きという規定となっている。

メドハ・A・アブダラ博士

(以下M医)

アレキサンドリア大学歯科部の教授で、夜6時から9時迄臨床医として働くM医は、40才になったところだが、「僕が16才の時に貴女にお会いしました」と言う。それで気易くなって、歯科分野だけでなく、他のエジプト事情についても話を聞くこととなった。

現代エジプトが直面する深刻な問題は、人口増加だ。宗教的に避妊御法度なので、増加



率は世界的に最も高い国の一つである。90年の総人口は5,300万人、現在6,000万人、2000年には7,500万人となる予定だ。内ほぼ25%が6~15才の青少年となっている。

52年のナセル革命で公務員制度が敷かれ、登録している歯科医の58%は公務員として公共衛生機関で働いている。新卒の歯科医は、少なくとも2年間は公務員として働くことが義務づけられている。国民は全国に



1,813あるクリニックで、無料サービスを受けられる仕組みだ。

公務員制度では、ワーカーは怠けようが、上役をバカにしようが、首にならないというメリットがあるが、給料は安く「パンと水」位の生活しか出来ない。それで多くの人が、昼間は公務員として働き、夜はプライベート・ビジネスで働くという習慣が誕生している。

登録されている全国歯科医数は、79年に4,631人だったのが、次の10年で約3倍の12,723人となっている。90年当時の新卒数は、年に650人だったが、今では削減され250人位。以前1,000人という時代もあったそうだ。

5つの歯科大学はカイロ、アレキサンドリア、タンタ、エルマンスラ、アラザハに設置されており、アラザハの歯科課程は他より1年多い6年制となっている。カソリックのヴァチカン的存在の、世界最大のイスラム教育機関で、最初の1年は宗教教育となっているからだ。ここの課程を終えた人達は、イスラム教の伝導者としても活躍する。

今、新卒の1/3弱の65人が女性だが、女

性の歯科分野進出はめざましく、クラスの半分以上が女子学生だったりするのも珍しくなくなった。M医の話では、女子学生の方が勉強するのは上手だが、歯科医としては男子学生の方が腕が良いそうだ。宗教的に、女性患者は女性歯科医にみて貰うことを好むので（患者の夫がそう希望する）、女性歯科医数は年ごとに増加傾向である。しかし卒業して2~3年で結婚して家庭に入ってしまう、という欠点(?)がある。M医のクラスメイトだった奥さんも、彼と結婚してからは家庭人となってしまって、現役を退いている。

国民6,000人当り歯科医1人と発表されているが、歯科医の殆んどはカイロとA市に集中してしまい、田舎では歯科治療が行き届かない現状である。それなら超過密の都会で仕事にあぶれている歯科医は田舎で開業すればいいじゃないか——となるが、その地方の人間でない歯科医は敬遠されて仕事にならないという。全て人間関係が重視される社会ということだ。

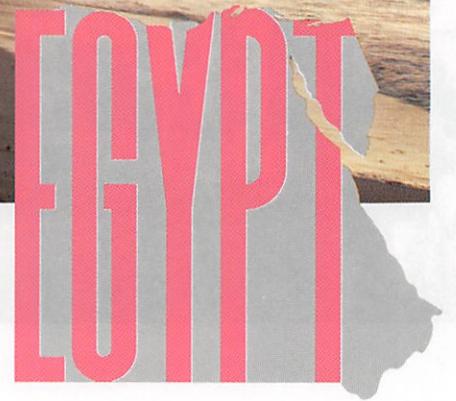
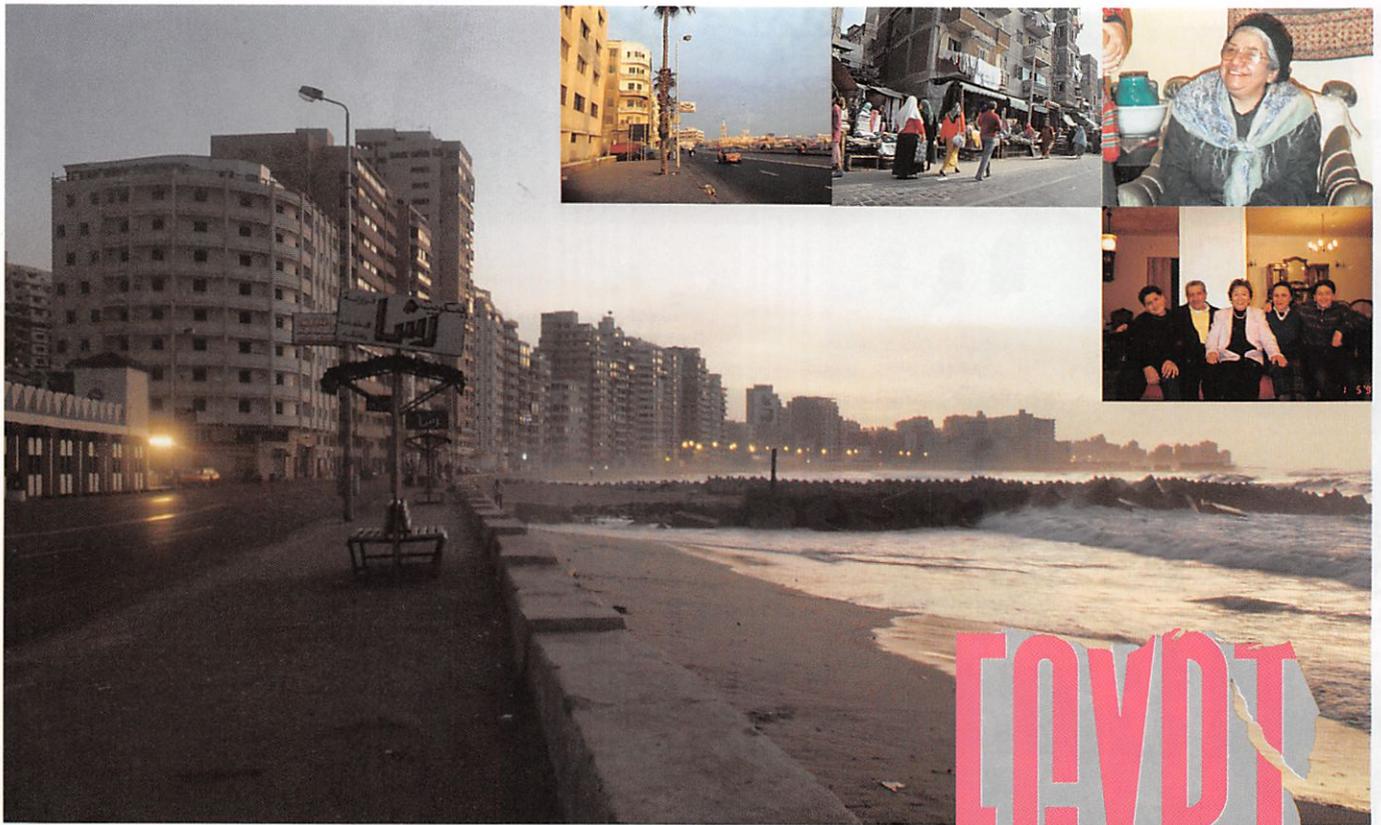
政府は今、歯科医数を減らす方針で動いており、高校卒の国家試験はあるが、大学入

海外だより/エジプト人の暮らしと歯科事情

学試験は無いという。政府が何人どの分野に、ということを決めるのだそうだ。この規定下、いくらかの選択自由は許されている様で、貧乏な学生は歯科でなく医学部に行くという。歯科大学の学費は年に46ポンドだが、勉強する場を提供するだけで、器具や材料は自費調達で、月100ポンド位かかるが、医学部はこの材料費が無いからというのがその理由だ。

開業するには大変コストがかかる。6年前のA市では、良いクリニックを13万5,000ポンド位でオープン出来たが、今では24万ポンド位かかる。田舎の20倍、カイロはA市の3倍はかかる。

M医のクリニックでは歯科医が2人、助手が2人、秘書が1人働いているが、M医のもとで働くもう一人の歯科医であるラエフ医は歯科大学を14年前に卒業して以来、いまだ



海外だより/エジプト人の暮らしと歯科事情

ワーカーが働くニット会社の社長で、生産はコンピューター化されている。弟のアフマド夫婦は果樹園を運営している。

私が初めてエジプトを訪れたのは1969年だった。ナセル革命で、それ迄各産業分野で企業を運営していたアブユーセフ家の財産は国に没収されてしまい、彼等にとっては暗い日々だったに違いない。

今でもアレキサンドリアには、「アブユーセフ」という地名が残っているが、それは彼等がこの辺一帯の大地主だったからだ。

時が経ち、環境も変わったが、アブユーセフ家の人々が、そして他のエジプトの友人達が、家族共々恙なく暮らしているのは嬉しいことだ。

筆者紹介

岩本蘭子

ボストン大学大学院ジャーナリズム科卒業
ランコインターナショナル社長

に開業出来ず、あちこちのクリニックで働く身である。A市の歯科医数は1,700人位といわれるが、内開業しているのは200人から250人位とされている。

治療代のことを聞いたら、話がややこしくなった。クリニックが上・中・下と大きく分かれるというのだ。結論的に言うと、「下」は政府の公共医療機関で、主として教育程度の低い人達や公務員が行く。無料である。歯科治療は抜歯と虫歯に限られている。

「中」の代表的なものはM医のクリニックで、教育もある中産階級が行く。抜歯代は20～30ポンド程度。ちなみにM医はクラウンとブリッジを専門とする。

「上」の治療代で高いのは300ポンド位かかるから、その治療代が払える人、つまり「新興成金」の多くが行く……。

ここでまた話が長くなった。

「上」に行く人間、必ずしもエジプト社会の「上流」に属さない。最高の教育を受けた人達(つまり私の友人達、博士号所有者達)で、収入がそれ程でない人は多い。サダト時代に多くの人が金持ちになったが、悪いやり方で巨万の富を築いた人が多い。エジプトでは「家系」が大変重視されるのだ……。

それでは「新興成金」が、上流社会に入れ

るのにどれ位時間がかかるか、と質問したら、そこに居た人達のアラビア語での喧々ごうとなり、結論は、「一代ではダメ。二代目でもダメ。三代目でやっと上流社会入りといえるでしょう」となった。

矯正が歯科では一番コストがかかる。だから金持ちは、必要としないのに、ブレイスをしたがるようだ。ファッション的なステイタス・シンボルになっているらしい。イスラム教では、女性は良いが男性の金歯は禁じられているという。「贅沢する前に、貧乏人に恵んでやれ。男らしくあれ」ということである。歯菌ということでは、近年食餌の関係で貧乏人の歯の方が健康的だそうだ。

エジプト社会で尊敬されているプロフェッションをその順に挙げると、トップが医者、次がエンジニア、そして裁判官、弁護士、警官、そして軍隊となる様だ。

イナムの妹夫婦アミーラとアフマドは、東大で博士号(遺伝学)を修め、現在A大学の教授である。娘さんは今年卒業する医学生だ。外科分野に関心があるのだが、エジプトに女性外科医は存在しない。国の規定ではないが、習慣的に女性御法度の分野だからだ。

イナムのお姉さんのイルハムは、数十人の

オサダの商品
〈お元気ですか〉

島田歯科医院

東京都国分寺市東元町2-13-41

院長 島田弘量
副院長 島田卓



東京駅より中央線快速で約40分。西へと伸び続ける首都圏もこの辺りに来ると武蔵野の面影が所々に未だ感じられ、ホッとした気分させられる。ご紹介の島田歯科医院のある国分寺駅周辺も駅前には大店舗が林立するものの、車で2〜3分の医院の辺りは静かな住宅街を形づくっている。

院長は昭和35年、東京歯科大学をご卒業。卒後は同大保存学教室にて2年半ほど研修生活を。その後日比谷にあった(現在銀座)山本歯科(院長山本爲之氏)にて2年間勤務医を経験。昭和39年7月

独立、開業医として第一歩を踏み出された。約30年間、此処より2〜3分離れた場所で開業されていたが、平成5年4月にご息が戻られるのを機に現在地(平成4年8月)に新築移転。心新たにスタートされたご様子。尚、現在は(社)東京都国分寺市歯科医師会会長としても2年目を迎えられ、頼れるリーダーとして公私共に多忙な日々をお過ごしの様である。



院長不在時に、変わって当院を取りしきるのが、昭和63年にお父様と同じく東京歯科大学をご卒業され、その後同大歯科補綴学第一講座で5年研修・勉強されたご息子卓(たかし)氏。

ハキハキと礼儀正しく明るい印象の若いスタッフ一同に囲まれた院長。今年還暦を迎えられると言われるが、対内外でのご活躍の源泉はここにあり、とみる。

——都心へも近いし、まだ発展の余地もあると思われる周辺環境ですから、歯科医院も多くなって来ているでしょうね。「ええ。私が開業した頃は、この近くでは2軒だけだったんですが、今はご覧の通り、いたる所、という感じです(笑)。現在、市の人口は約10万、それに対して歯科医院は非会員の方も含め約60軒。超過密と言えますね」。——会長とし

て若い先生方から相談を受けられることが多いかと思いますが、内容は? 「やはり過当競争の中で、自院をどのように維持していくかの悩みが多いですね。昔と違って、受けて来た教育も、スタッフや設備を揃え、じっくり診療をする、ということですから、開業時の費用や維持に膨大なお金がかかります。長時間の診療等、若さと体力でがんばっておられるようですが、世間一般とは逆の方向。時に可哀想になりますが、この時期を守りきれば、素晴らしい歯科医師になれる、と話しております」。

——副院長。そうしたお父様を持たれ、時には多少重荷に感じられませんか(笑)? 「ええ(笑)。でも学ぶことも多いですね。大学での診療は、教育と研究が主ですから、環境や時間に余裕があるんです。でもここでは当たり前ですが診療が主体。父の築いて来た医院をいかに守り、同様な信頼を得ていくか。まだ毎日を精一杯治療するだけで自分を出すところまでは行っておりません。難しく厳しいと思う日々の連続です(笑)。「いやいや、私はそんな意識は持っていないんですよ(笑)。でも35年近い差があるんですから、今は厳しいと映ることもあって当然でしょう(笑)。でも心の中では、患者さんには私より

親切でやさしいし、丁寧に説明。良くやっているな、と思っているんですよ(笑)。私はもう眼も衰えるし、何より持久力がなくなっているしで、もう下がる一方ですよ(笑)」。うらやましいような親子関係である。

新設された診療室には、最新のオサダ<ノーベル>ユニットと共に、15年近く前にご購入頂いたページェットとグリーンの<スマイリーGM>が2台並べられている。まだまだ新品同様。スタッフの皆さんの手入れがいかに良いかを物語って

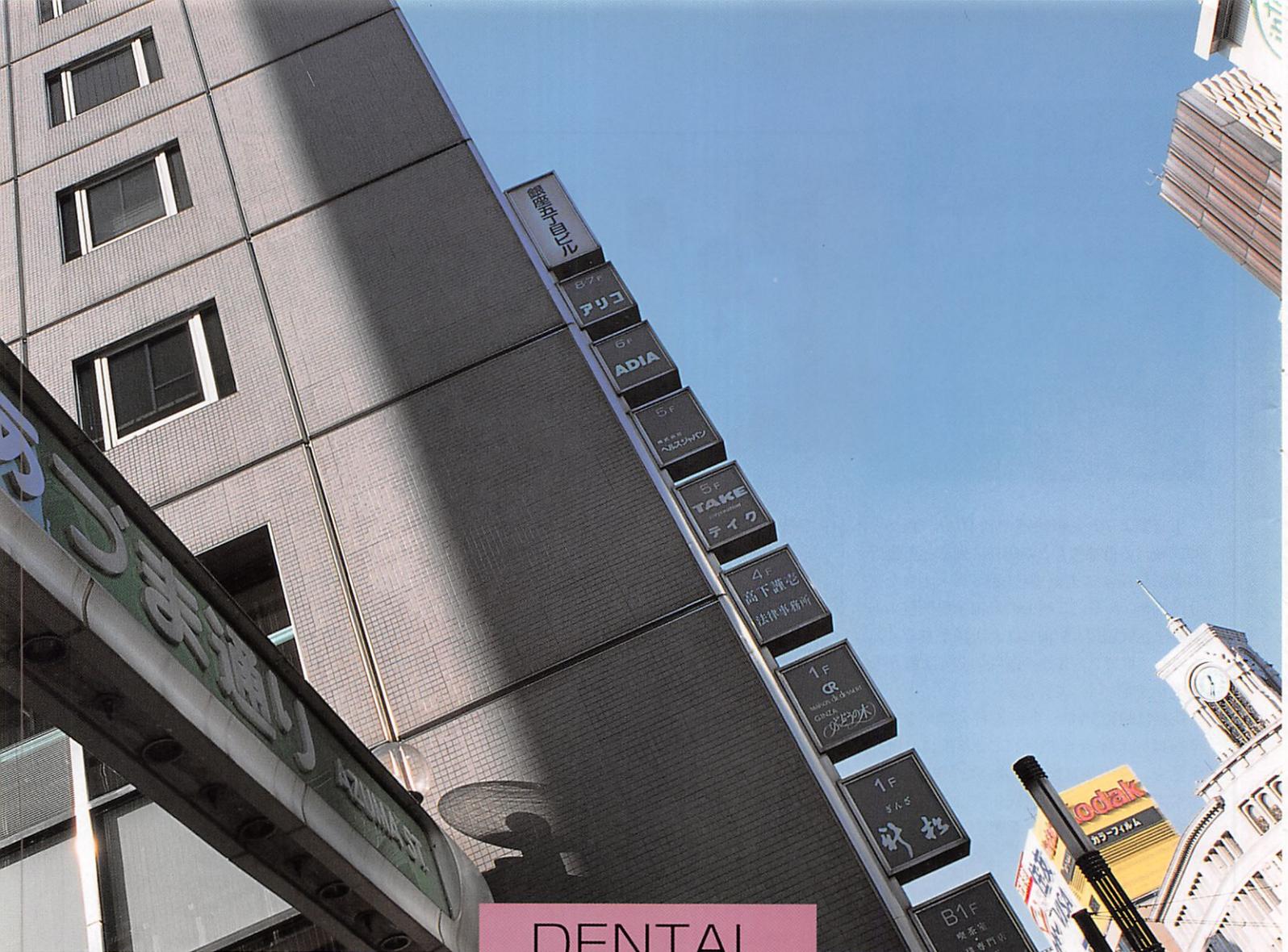
いる。「開業当初はオサダではなかったんですが、評判を聞きその後オサダのユニットに変えました。医院ですから、整理整頓をし、常に清潔を保つことは当たり前ですから、スタッフにはその点厳しいですね。でも皆さん気持ち良く勤めてくれましたね。スタッフもユニットも当院の大切な財産であると思っています」。



——将来の方向は? 「私達の時代は単に歯を治すことに専念していれば良かったんですが、今後は高齢化社会を迎えるにあたって、全身の健康を考えつつ診療をする、という方向に変わって来ています。息子から時々注意されたり(笑)…。学ぶことも多いですよ。ただ先程言いましたように長時間の診療をしなければならぬと言った事情から、「ゆとり」がなくなり、若い人が自身の勉強が充分出来なくなっていることが、患者ニーズを考えると少々心配ですね」と自院の日々と将来歯科医療界を背負っていかれる若い先生方の現状を会長の立場から話される。心温かい院長である。



15年前に買ったスマイリーGMユニット。
スタッフ共々、
当院の大切な財産です。



DENTAL SPACE

銀座 デンタルオフィス ソメヤ

東京都中央区銀座5-8-5
銀座5丁目ビル3階

院長 染矢ひとみ

**成人女性をイメージした、
清潔で落ち着ける雰囲気
の診療室を、
と心掛けました。**

全国各地に〇〇銀座と名付けた商店街は多いが、文字通りこはその発祥の地、江戸時代に銀の市座が開かれた東京は銀座のど真ん中。和光・三越・三愛のシックなショーウィンドーが交差する角からほんの15mほどのビルの3階に開業された、その名もく銀座・デンタルオフィス・ソメヤ。院長はさぞや女傑、と思って取材にお伺いしたが、思わず、うっ！。現われた院長は若く細身でやさしそうなイメージ。が、お話を聞いている内に、お年は若い、なるほどとうなずける体験が

随所に感じられた。

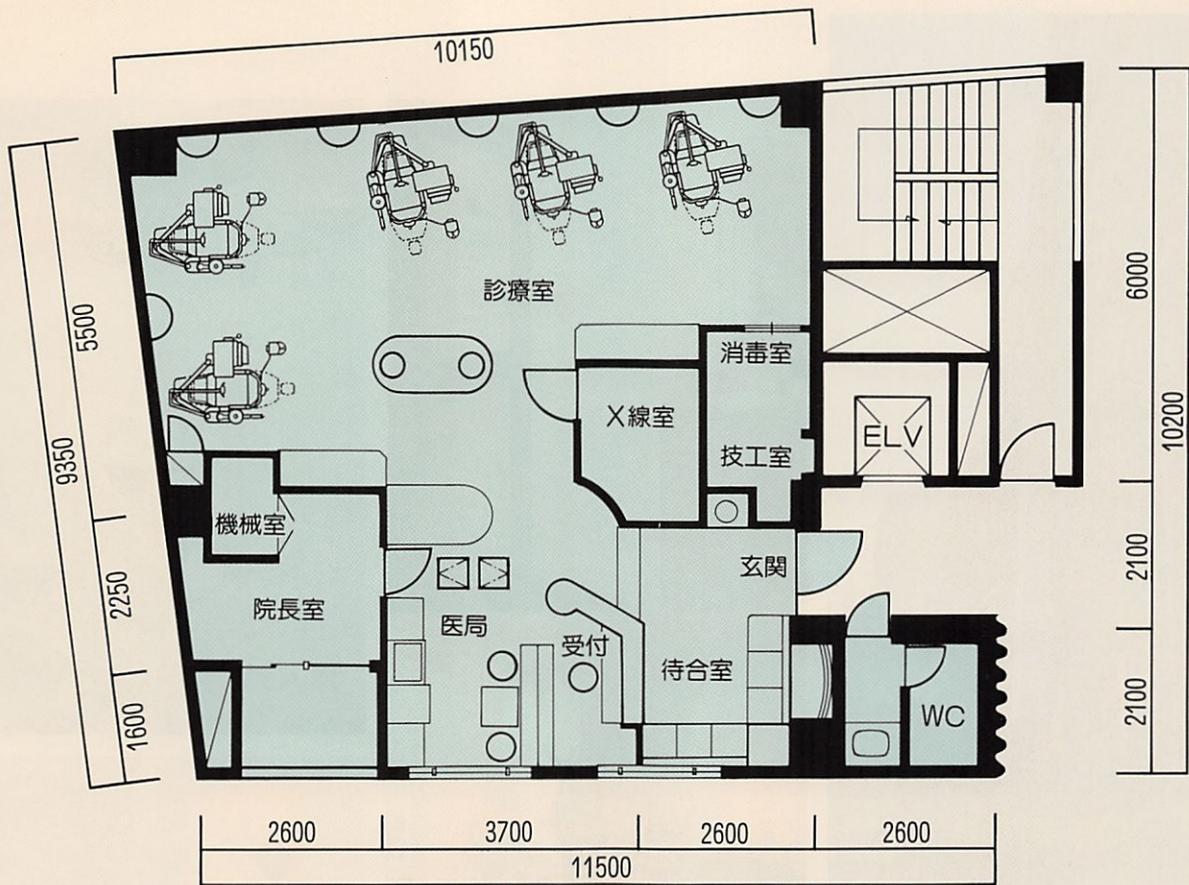
九州・宮崎は、延岡市で歯科医院を開業されていた染矢博氏の長女として生まれたが、お父様を16才で亡くされ、跡を継ぐべく日本歯科大学へと進学。大学卒業までの約10年間、代診の先生でつなぎながら医院を継続。そうした理由から卒業後(昭和59年)はすぐ実家に戻り、6年間診療生活を。3年前、弟さん(日歯大卒)が大学を卒業されて後継者が出来たことから院長は再び上京。新橋にある歯科医院に勤務医として勤められた後、昨

年11月、当地にて開業に踏み切られた。

待合室は上質の素材をさりげなくという院長のポリシーに従って、薄紫の模様が入った大理石の床に、6名程座れる黒のボックスキンの椅子。靴のまま2段ほど上がって診療室へ。受付台も中央に配置されたキャビネット兼手洗い台もブラウン系のこれ又大理石。天井と壁の境目もまわり縁をつけ和らかな味を演出。一見さほど豪華には見えないが、各所にさりげない気配りがなされている診療所。

明るく笑顔のきれいなお2人のスタッフに囲まれた女性ばかりの清潔な印象の歯科医院である。

Q：よく思い切って昔から激戦と言われる銀座でオープンされましたね。



院長 染矢ひとみ先生

- 設計・施工：(株)トキデザイン ■開業：平成6年11月
- スペース：約85㎡(約25坪) ■ユニット：スマイリー<ノーベル>5台
- 診療時間：10:00~20:00(月~金)、10:00~15:00(土)、休日：日曜、祭日
- スタッフ構成：ドクター1名、受付・助手2名、非常勤衛生士2名
- 患者数：1日約10名

院長：皆さん度胸がいいと言われますが、本人は意外にそうは思っていないですよ(笑)。地方からいきなり此处では躊躇したかも知れませんが、新橋で勤務していましたので余り抵抗は感じませんでした。

Q：患者層は？

院長：場所柄と女医であることからOLの方が圧倒的ですね。後は30代から40代の女性、その紹介でご主人様が、という様に。遠く横浜から来られる方もおられますが、ほとんど銀座中心です。

Q：宮崎時代と比べていかがですか？

院長：実家にいた頃は、台数も多く、時には1日100人という日もありましたし、患者層も0才から100才の方もいらして…。今は開業したばかりで余り知られていませ

んから…。夜も8時までと時間はたっぷり、その分患者さんともゆっくりお話や治療が出来て楽ですね(笑)。

Q：この地での開業。失礼ですが開業資金は？

院長：自己資金と実家が保証人になってくれてまして銀行からの借入金です。返済も私にしたら大変ですが(笑)一時期よりかなり安くなっていると皆さんおっしゃいますし、これが3~4年前のバブル期でしたらともこの場所での開業など出来なかったと思います。本当に良い時期に恵まれました。

Q：やはり都会地の患者さんは歯に対する認識度は高いでしょうね？

院長：ええ、歯に対しての意識や知識もかなり持っておられますね。特に審美的には

色や材質まで、自分が納得いくまで追求して来られます。患者層も年齢的に私と近い人が多いので、感覚や好みなど、自分をみているような気が致します(笑)。

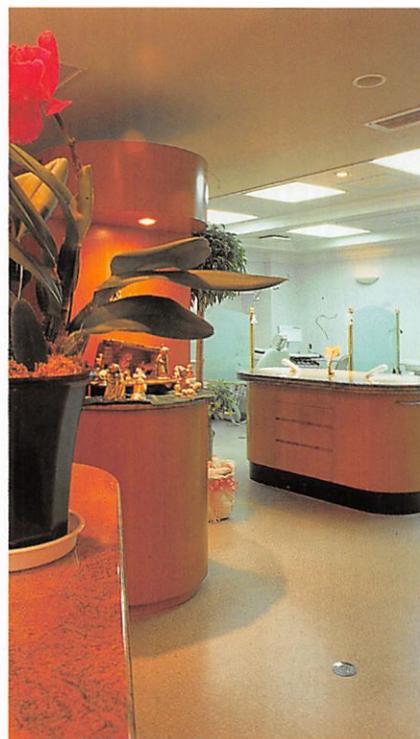




Q：今は患者数から考えますと時間的に余裕がありますが、今後増えたら大変ですね。

院長：その点は田舎で訓練されておりますから大丈夫(笑)。田舎では、崖から落ちたりして救急で運ばれたり、沢山のお年寄りの義歯を手がけ、学校検診の後には、子供達で大変でしたから色々な事に自信ができました。実家での6年間は、私にはとてもプラスになったと思います。これが最初から都会でしたら状況によって変化出来ずイライラするでしょうね(笑)。各種の設備機器も機械で出来るものは総て機械でやり、余った時間は患者さんとのコミュニケーションにあてられるように設置しました。

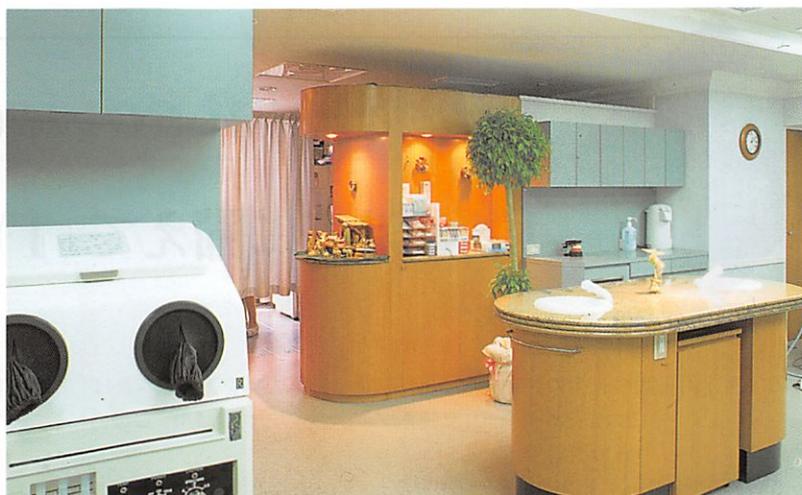
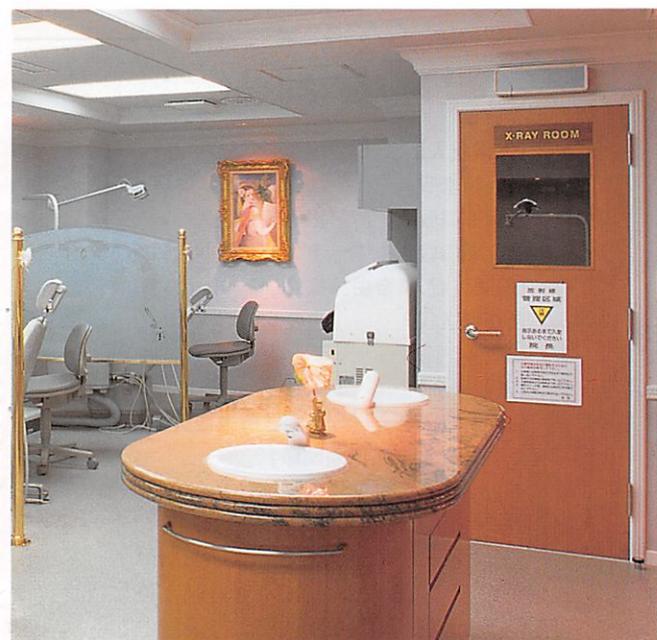
Q：診療室設計にあたってご留意された点は？
院長：自分を対象にした成人女性をイメージして、ホテルの内装を主にされていて、



歯科は初めてという方に依頼しました。スペースが限られておりますので、少しでも広く開放的で、しかも着着ける雰囲気をと。待合室から診療室が見えると安心出来ると思われまして、最近の若い方は朝シャンに代表されるように、とにかく清潔でなくてはイヤ、スリッパも自分専用を持参なさることも以前経験しましたので土足で上がることに致しました。医院の方で常に清潔にしておけば、患者さんも長くつてホテルには行かれない様に、汚いままではいられないようですよ。

Q：当社のスマイリー<ノーベル>をご使用頂いておりますが何故？

院長：実は実家も勤務医時代もオサダの機械は一度も使ったことがないんです。でも他社の機械を使っている故障が起きて



すぐ修理に来てくれず、私達も患者さんも困った経験がありました。開業にあたって先生方に相談すると誰もが、ユニットならオサダがいいよ、と言われましたし、デンタルショーでも各社に尋ねますと、値引きの話はすぐしますが、アフターについては、なるべくとか、たぶん行かれますとかで、明確な返事は聞かれませんでした。オサダは名刺一枚にも、担当者の自宅の電話番号まで入れてあり、これなら安心と信じて購入しました。機能については初めから自分なりに決めていましたから、機種については問題ありませんでした。

Q：今のご感想は？

院長：父も昔、東京・新宿で開業を決めていたようですが、事情があって母の実家で開業しました。父は亡くなるまで“もう一

度東京で”と熱望していたようで、母がこのビルを見つける事が出来たのも父がきっとここへ導いたのね、と話したことでした。この診療室が出来たのは、本当に沢山の方々のお力添えがあったこと。海外にこんなに安く良いものがあったと行って買って来て下さったり、講習会で知り合った先輩やお友達がそれぞれの立場から助言をして下さったりで…。人の縁の中に生かされている自分を思いますと、これから患者さんを含めて、色々な方々との出会いを心から大切にしていきたいと思っています。

父に見守られ、沢山の方々の愛に支えられて、私はまだまだこれからですが、しっかりと自分を見つめ歩んで行きたいと思っています。

<設計・施工の立場から>

銀座・デンタルオフィス・ソメヤを設計・施工するにあたって、立地は銀座4丁目交差点のすぐ裏にあり、テナントビルの3Fに位置し、ビル側からの規制も幾つかありました。空調関係及びWCは既存使用。また、2Fがカフェの為振動による騒音の工事は夜間という条件の中スタートしました。レイアウト的には、染矢先生との細かな打合わせの結果最終図面がまとまり、X-RAYを中心に動線を極力短くなるように、その廻りに診療室、消毒室等を設計。また、間仕切りは最小限にし什器で仕切る構成にしました。カラーイメージは、うすいグレーをベースに木目調の家具でバランスを取り、落ち着いた雰囲気仕上げました。

(株)トキデザイン

淡路が生んだ製陶師——
珉平焼に魅せられた郷土史研究家である
歯科医師を訪ねて。

高津歯科医院

兵庫県洲本市本町4-4-2

院長 高津全雄



地図の上では、大阪湾を防波堤となって守るように横たわる淡路島。首都が東京に移るまで、瀬戸内海を通して都に運ばれる渡来品はおそらくこの地で様々な検査を受けたであろうし、又その内の何点かは島に保留されたであろう。そうした意味では都から全国に広がったおびただしい品物を最初に目にし、その影響を最も受けたのもこの島の住民ではなかったか、と思われる。

ご紹介の高津先生秘蔵の焼物も、絵柄から染付まで一見中国製では、と思わせるほど、よく似た陶器が数多くある。

先生は洲本市歯科医師会長としてご活躍された方であるが、一方郷土史の研究家として、特にご紹介の淡路の珉平焼には造詣がふかく、陶土をEDTAや蛍光X線で化学的に分析、あるいは電子顕微鏡を使って観察するなど、ユニークな方法で、黄南京の発色理由や珉平焼と他の地方の焼物の土の違いを解明されている。

珉平焼の祖・賀集珉平の先祖は天正初年、備後(広島)より淡路島に移り住み、珉平は当初近海業に従事、一時は300余人を雇うほどになったが30代で製陶に手を染めた。その後阿波藩(徳島)蜂須賀家の藩窯となり売上げを伸ばしたが幕末動乱期を迎えて藩の援助も途絶え、晩年には多額の借財を残し、不遇のうちに明治4年76才で没した、と言う。

先生と珉平焼(淡路焼)との出会いは「昭和24年、大阪から父祖の地であるここ淡路島に移った頃、小出家に嫁いだ伯母から見せられた一つの茶碗——淡路の珉平という人が

作った焼物故、よく覚えておくようにと言われたことに始まりました」と言われる。ちなみに高津家は、代々庄屋で明治維新の東征で、有栖川宮熾仁親王に従った高津例太郎氏が曾祖父にあたり、明治30年代に代議士として活躍された雅雄氏は祖父。そして父である輝雄氏は雅雄氏の秘書から、その後歯科医師となり初代教育長、市会議員となられた、地域の名家である。

下部のモノクロ写真は「高津家コレクション・珉平の茶陶展」の出席時に写されたものである。「そのことがテレビや新聞に報道されてきてね。いつの間にか本人が思っても見なかった、淡路の陶器の研究者、収集家として、各方面から問い合わせや珉平焼の鑑定を頼まれております(笑)」。お見せ頂いた陶器の数々。素人で下賤な身には、ついお金のことが頭にチラつく。「これはそうですねー。400～500万円位かな。これは珉平焼より以前の大久保焼ですから値段はつけられませんね(笑)。でも私は業者ではありませんし、欲をもって物を見ると目が曇り本当に良い物を見抜けませんよ」と、やんわりたしなめられ



海老図茶碗



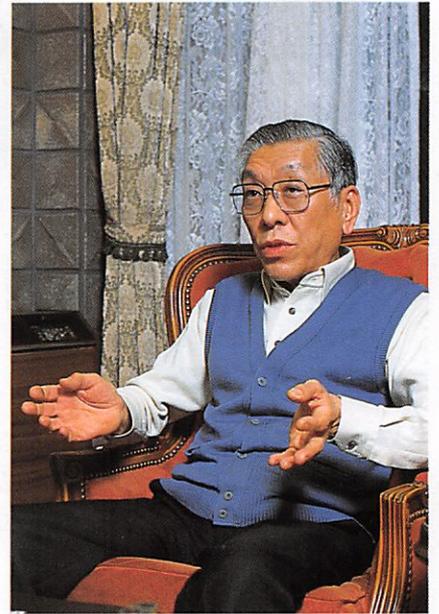
環黒風呂呂



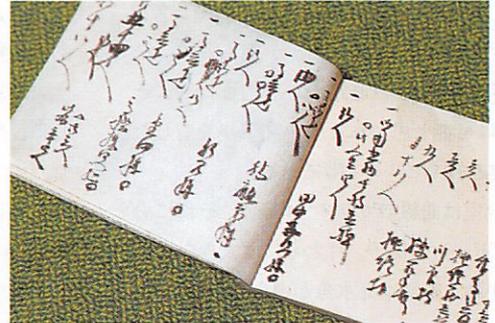
鉄釉風呂呂(陶製)



染付山水文耳付花入



→御福香合



た。「焼物に箱がつき、更に古文書がつきま
すと価値はぐっと高くなります。このコレク
ションの中には、祖父が政界に入った時、手
離したものが数点あり、それが回って、再び
当家に戻って来たという奇縁のものもあり
ます。この花入(染付山水文耳付花入)は神戸
元町のガード下の骨とう品屋で求めたもの
ですよ(笑)。この鉄釉風呂釜(陶製)は昨年9月、
滋賀県にある陶芸の森から借りに来て出展
した江戸時代に作られたものです。又珉平焼の
桐箱は入れ箱にも特徴がありまして横四方
の板に対し、底板の厚みは約半分になって
おります。こうしますと外部からのショック
が和らぐんですよ」。その他、その解説だけ

の頁が埋まりそうな海老図茶碗や御福香合
といわれる人形、勝海舟がまだ燐太郎と名
のつた下級武士当時、この島に立ち寄った
記録書や古文書等、2間の押入れ一杯から
更に書齋へと押し寄せている。「NHKに放
送されたり、講演なども頼まれているう
ちに、こんなものがあつた、これを鑑
定してくれと、地元の方はもとより、
関西方面から業者が持ってくるん
です。それがいつの間にかたまって
しまつて(笑)…。私も嫌いではあり
ませんから、その品物の歴史や由来、
さらに発生した時代背景まで調べて
いく中に、だんだん横道に入つて
行きましたね。どんどん広がつて
来てしまいました(笑)」。

応接間入口の壁には、平家物語、源氏物語、新井白石等の直筆の書や広重が描いた淡路島の原画が額に入れて飾られている。広く深く、科学機器も導入されて…。これでは時間がいくらあつても足りないと思われる。

お話を聞いている間にも、スタッフの方が次々と来院者名を告げに来る。4~5分立つては又戻つて来られ、話の続き。聞く側も面白く仕方がないが、これでは患者さんが可哀想。帰り際、診療室を通つたら、ユニットに座つた患者さんが皆さん口を開けて待つていた。

尚、1月17日に起きた兵庫県南部地震における被害状況は、高津歯科医院&コレクション共々、幸い無傷とのご返事でした。又、淡路全島の歯科医院も一部木造平屋建の医院に多少の被害が出たものの、皆さんご無事との高津院長のお話。誌上よりご報告申し上げます。

アシスタント紹介



松代歯科医院

茨城県つくば市松野木95-4

院長 李 鍾賀

森谷 茉莉さん 村上 聡子さん

落合 純恵さん 会見知波留さん

斉藤 珠美さん 奥田 陽子さん



常磐線・荒川沖駅から車でおよそ15分。筑波学園都市に向かう、広い学園西通りを入口近くで左折。付近は洒落た専門店やレストラン、マンション、住宅などが建ち並ぶ。松代歯科医院はその道路沿い。前面はおよそ10台は可能と思われる広い駐車場を有した3階建の持ちビルの1階にある。

待合室は曲線のガラスブロック、それに沿ってグリーン椅子。片方には大きな水槽が置かれ、中には海水魚がゆうゆうと泳いでいる。

診療室内は、木目のL字型のセパレーションが5室。中にはスマイリー〈ファイン〉が設置されている。

待合室、診療室とも明るくゆったり。働きやすそうな医院設計である。

最初にご紹介の森谷さん。学校は、院長が教員として勤務していた日大松戸歯学部付属歯科衛生士専門学校を4年前にご卒業。卒業後すぐ当院に就職される予定が、開業前でやむなく他院へ。開業と同時に移られた。明るい笑顔とハキハキとした言動が魅力的な衛生士さんだ。——この道を志された動機は？「人と接する仕事が好きだったことと、資格を持つことが将来大切と思ったからです。普通のOLには、初めからなるつもりはありませんでした」。——で今のご心境は？「最初は

ただ必死でしたが、年毎に色々とわかって来て、やっと近頃面白くなって来ました。でも体力も必要だし、ちょっとシンドイ仕事でもありますね(笑)。——就職された動機は？「学校時代、先生の診療方針——歯周病を中心にした口腔内管理などを聞いて知っていましたので、私の理想に近く、開業されると同時にここに来ました」と衛生士としての自身の心をしっかりと持ったご返事である。——患者層は？「やはり場所から公務員や研究室の方々が多く、皆さん口腔内のことなど詳しいんです。だからいいかげんな説明は出来なくて(笑)。勉強になります」。——将来は？「患者さんの生活に密着した衛生士。指導や出来たら指名されるような衛生士になりたいな、と思っているんです」。印象通りのご返答である。

落合さんは東京医学専門学校を6年前に卒業されたそろそろベテランの域に達する衛生士さん。「以前は千葉の医院に勤めていましたが、以前から自宅近くで、歯周病を主体に治療をされる先生がいたら、とさがしていたら、丁度ここで面接があり就職しました」。——衛生士への志望動機は？「小さな頃矯正に通い、この仕事は知っており、私も将来は、と。高校時代から衛生士になろうと決めていました。今は私の理想とする同じ考えの院長先生と巡り合えて幸せです」。——衛生

士としての職業観は？「まだこの職業に対する知名度も低いし、助手と変わらないという考え方を持っておられる方も多いのですが、職業としては、やりがいのある仕事だと思っています。とくに患者さんは皆さん違った生活背景や仕事を持っておられますので、教えられることが多いですね。普通のOL生活とは違い、体力的にはキツイし、休暇も長くとれませんが、患者さんの喜ぶ顔を見るとこの職業について良かった、と思っています」。

斉藤さんは小学校3年と1年の子供を持つ、茨城歯科専門学校を卒業されたベテランの衛生士さん。

「でも結婚、出産、育児とこの職業を離れていた期間が長かったので、材料・薬品など、だいぶ違ってしまい、まだ皆さんに迷惑をかけている最中です(笑)。当院は子供さんの患者が割と多いので、その点育てた経験を持つ私でも、多少役立つ部分があるかな、と思っています」と謙遜の言葉。この職業については？「私の場合そうですが、資格を持っていますと、一度やめても、こうした就職難の時代にも再び勤められる良さがありますね。子供がおりますので、丁度混み始める4時頃までしか勤められないのが心苦しいのですが、院長先生もわかって下さり、良い医院に就職出来たと思っています」。——ご主人の協力度は？「全くありません(笑)」とキッ



パリ!？。

村上さんは落合さんと同じ東京医学専門学校をご卒業。が、最初は看護婦を志し、准看の免許を取って病院勤めをしたが1年で方向転換、再び衛生士学校に入って勉強、この道に進んだ、と言われる。——何故の質問に「看護婦の仕事はハードでキツイ。それに何より時間がなくて旅行にも行けなし遊べないから(笑)」と現代っらしいご返事。——そして今のご感想は? 「看護婦時代は外科でしたので、色々な人と接することはなかったんですが、今は毎日。私に合っているみたいです」。キャリア3年、当院で1年。——何故他の歯科医院から移られたのですか? 「以前の医院は衛生士本来の仕事をやらせてもらえず、これでは将来困るのでは、と移りました。私は出来たら結婚後もこの仕事一本でやって行きたいと思っていますから…」とやる気満々。——将来は? 「出来る衛生士です」と一言。末頼もしい衛生士さんだ。

会見さんは短大(初等教育科)を卒業された後、この道に入ったアシスタントさん。——何故の方向転換? 「私は人前で話をしたり、何かするのが好きじゃないんですが、友人がアルバイトで歯科医院に勤めていて、たのしそうだからこの道を選びました。今は毎日緊張の連続なんですけど、人と接すると色々教わるのが多くたのしいですね」と前言

と矛盾するご返事。たぶん、個人と大勢との違いだろうと想像する。——つらいことはない? 「特別なんですけど、夕方7時半頃まで仕事がありますので、自分の時間がとれなくて…。でも今のところは勤められそう」と、ちょっと頼りなげなご返事であるが、未だ22才。無理もない。

奥田さんは受付担当。——大変なことは? 「助手から、受付の担当になって1年たちますが、毎日50人前後の方が来院されますのでちょっと大変。特に月末の保険の請求時には間違っては困るので、緊張しますね」。——

気をつけていることは? 「どんな人にも笑顔で接すること。それと時に治療の都合上で予約された患者さんとのズレが生じる場合があります。そんな時、どのようにして患者さんに納得してもらえるか。和やかに話して押さえる(患者さんの気持ちを)。難しいですが…」。「今受付は1人ですので、何んでも1人でやらなければならないので、大変な反面、やりがいがあって面白いですよ。ご登場中一番若いのが、院長が推薦されただけあって、話をしても笑顔で絶やさな。患者さんが最初に出会う当院の大切な窓口である。



<院長から一言>

歯科医師が歯を守る、その土台である歯周病の治療に力を入れるのは何も特別なことではありませんが、その一翼を担う衛生士の役割は大きなものがあります。まだ開院してから2年余りで、スタッフ教育をシステマチックには取り入れておりませんが、気がついたことはその都度注意しております。将来はどんな質問にも答えられるレベルまで引き上げる必要を感じておりますが…。ただ少なくとも挨拶だけは人として最も大切なことですからその点は厳しいですね。まだ始めたばかりでお互い忙しく、時間的にも大変な面がありますが、皆さんよく頑張ってくれ助かっております。



**益々消毒面には敏感になっている患者さん。
オサダ<プチクレーブ>は
時間もかからず持ち運びも簡単。
大活躍で助かっております。**

高橋歯科クリニック

東京都港区赤坂1-5-12
堀内ビル4階

院長 **高橋統理**
(日本大学歯学部卒・33才)



玉

会議事堂を山の頂点とする
と、その中腹に各種官公庁、
それをとりまく麓には関連企業や各
会社が軒を連ねる赤坂・溜池周辺。
高橋歯科クリニックはその交差点角
のビル4階にある。

窓に沿ってグレーと黄色のスマイ
リーハノーベルV型が3台並び、
ブラインドを通して高速環状線が見
えるという都会の診療室内。

院長は卒後補綴学教室クラウンブ
リッジ学講座で3年間研修生活を送
られた後、勤務医を4年余り経験。

平成5年4月当ビルにてご開業。

「患者層は場所柄サラリーマンが多
く、従って昼休みや5時以降に集中
しますね。歯に対しての意識や知識
も高いので私も気が抜けませんが、
それだけにやりがい
もありますね。特に
消毒面は、長年やつ
ておりますと意識
がマヒして来ます
ので、時々部外者
として女房から注意
されます」と言われるよ
うに、ワークテーブル上
には薬瓶すら乗っていない。
総て患者さんの治療内容によつてス
タッフがその都度用意されるよう
だ。



◇

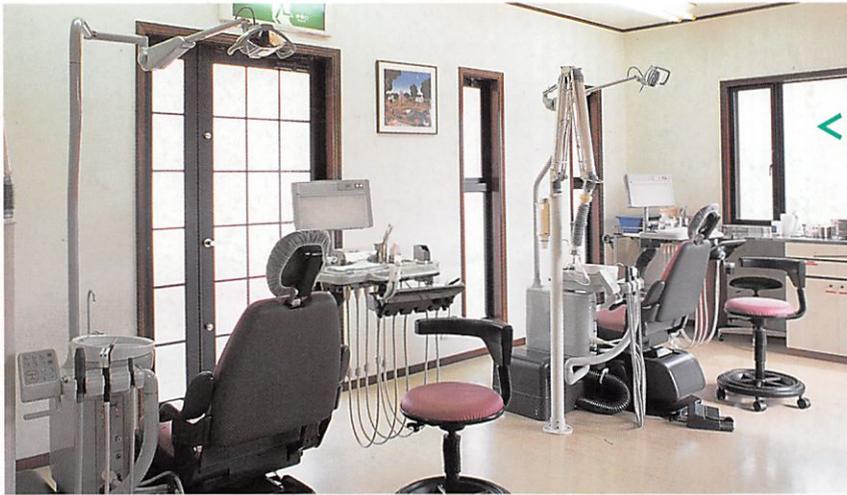
◇

熱処理滅菌出来るものはオサダハ
クレートロンV、不可能なものは
主に医科用に使われているエフゲン
に入れ消毒。当院は私もスタッフも
血液が付いたものには絶対に手をふ
れないシステムをとっております。
昨年11月このオサダハプチクレーブ
Vが発売されましたので早速購入。
本日は患者の人数分欲しいのですが
(笑)。時間や手間がかからず、持ち
運びが簡単。消毒面の良さが当院の
一つの売り物ですが、大活躍で助か
っております。

インストルメント専用オートクレーブ

**オサダ
プチクレーブ**

製造承認番号06B第0267号 ¥198,600 ※消費税別途



医科なみの消毒・滅菌を、
と心掛けています。
＜ファインGMD＞はそうした面も含め、
時代のニーズに応えた
ユニットであると思います。

歯科・小児歯科 J クリニック

名古屋市中区中島新町3-810

院長 神野優子

(愛知学院大学歯学部卒・35才)

歯科医師 神野勝美

(愛知学院大学歯学部卒・35才)

地

下鉄東山線・高畑駅
より車で3〜4分。

真新しい郊外住宅が立ち並ぶ
角地に、広い駐車場を有した
タイル貼りのどっしりとした
建物がすぐ目に止まる。Jク
リニックの表示を見た瞬間、サッカーを思い
出したが、Jとはの間違いに、「いろいろ想像し
てもらう方がいいじゃないですか。でもJリ
ীগよりは先ですよ」との返事。



待合室はアール状に作られた窓に沿って椅
子が並び、一角には子供用のプレイコーナ
ーが。床、受付、椅子、仕切り等を茶系でま
とめ、天井、壁等は白系を使用。ゆったりと落
着いた雰囲気をかもし出している。

院長は卒後、実家のある浜松市で勤務医を
経験後、2年前当地でご開業。それを補佐す
るご主人勝美氏は卒後、主に市立岡崎病院で
口腔外科医を10年経験。現在も口腔に関す
るあらゆる技術・知識をマスターすべく勉強さ
れているとのことである。医院の方針は「歯牙
に限らず、顎・口腔全般の疾患に対処し、管
理できる医院に。また多種多様な患者さんの
ニーズに答えられる医院づくりを目指してや
っております」。

ハキハキと明るいスタッフと院内のあたた
かい雰囲気。地域住民にとってはさぞ頼れる
歯科医院であることだろう。

医科なみの消毒・滅菌を心掛けて治療をや
っておりますので、スタッフも仕事が多く大
変ですが、それが患者さんのもとより、自身
の健康をも守るということですから妥協はし
ません。そうした面も含め開発されたこのハ
ファインGMDV。使いこなすほどに、良さが
がわかってきます。よく考えられていますね。



OSADA
Fine GMD RL233LL
製造承認番号 03B第0326号

※資料ご希望の方は、商品名、掲載誌名を明記の上、本社お客様センター係宛にハガキでご請求下さい。